

教室一年の歩み

北海道大学医学部産婦人科



令和4年度

北大産婦人科同門会・WIND学術講演会

<Web開催>

令和4年12月17日(土)

北大産婦人科学教室 1年の主なできごと

[2021(令和3年)12月～2022(令和4年)11月]

(※個人情報保護の観点から、結婚・出産等の情報は掲載しておりません。)

(令和3年)

12月	3	金	第20回JGOG総会・年次会議 (web)	
			日産婦第3回渉外委員会 (web)	
	4	土	第125回日本産科麻酔学会学術集会	(名古屋市)
	6	月	働き方改革のWIND説明会 (web)	
	7	火	ゼジャーラ全国WEB講演会 渡利教授座長	
	10	金	日産婦第3回学術委員会 (web)	
	11	土	日産婦令和3年度事業計画会議、第3回理事会	
	17	金	第7回日本産科婦人科遺伝診療学会 ～18日	(大阪)
	18	土	令和3年度北大産婦人科同門会・WIND学術講演会	(札幌パークホテル/web)
	24	金	第41回日本妊娠高血圧学会学術集会 ～25日	(奈良市)

(令和4年)

1月	6	木	三大学・働き方改革の話し合い (web)	
	8	土	第26回日本生殖内分泌学会学術集会 ～9日	(金沢市)
	9	日	日産婦第2回臨時総会 (web)	
	12	水	17:30～産婦人科ミーティング	
	14	金	第40回周産期学シンポジウム ～15日	(横浜)
			日産婦医学教育活性化委員会 (web)	
	16	日	ゼジャーラ発売1周年記念講演会渡利教授講演	(東京)
	19	水	徐道知先生学位審査「最終審査」	
	21	金	日産婦常務理事会	(東京)
	29	土	第10回日本婦人科ロボット手術学会 ～30日	(静岡)
			第1回日本産婦人科超音波研究会学術集会 (web)	
2月	5	土	北海道がん・生殖医療ネットワーク推進ワーキング・グループ (web)	(ロイトン札幌)
	7	月	HPVワクチン積極的接種勧奨再開後のための講演会 (web)	
	12	土	第5回日本子宮鏡研究会 ～13日	(福岡/Web)
	14	月	ゼジャーラ発売1周年記念WEBセミナー 渡利教授講演	(ロイトン札幌)
	18	金	第28回日本胎児心臓病学会学術集会 ～19日	(松本/Web)
	19	土	WIND研修発表会 (ハイブリッド)	
	21	月	日本婦人科腫瘍学会第5回常務理事会 (web)	
	22	火	奈良県総合医療センター 渡利教授Web講演	(中外北海道支店)
	25	金	第74回JJCO常任編集会議 (web)	
			NRG Oncology-Japan Virtual Meeting	
	26	土	第14回日本ロボット外科学会学術集会 ～27日	(鹿児島)
			第9回婦人科がんバイオマーカー研究会	(川崎医科大学)
	28	月	日産婦教育委員会 (web)	

3月	4	金	日産婦第4回学術担当理事会・委員会（web） 北海道がん・生殖医療ネットワーク推進ワーキング・グループ（web）	
	5	土	日産婦第4回理事会（web）	
	7	月	レルミナ発売3周年記念Web講演会 渡利教授座長	（日本生命札幌ビル）
	8	火	ゼジューラ全国WEB講演会 渡利教授講演	（TKP札幌）
	10	木	第71回JGOG理事会（web）	
	12	土	日本臨床細胞学会第4回理事会（web） 石川県産科婦人科学会秋期学術講演会 渡利教授講演（web）	
	16	水	北海道対がん協会理事会（web）	
	17	木	北海道・東北エリア 子宮体癌関連講演会 渡利教授座長	（ロイトン札幌/web）
	19	土	第33回東北婦人科腫瘍研究会（TGCU）	（盛岡/ハイブリッド）
	20	日	第28回日本産婦人科乳癌医学会（web）～21日 渡利教授座長	
	21	月	北海道医師会・社会保険医療指導委員協議会（web）	
	22	火	Ovarian Cancer Symposium in East Japan（web） 渡利教授座長	
	26	土	日本婦人科腫瘍学会第6回常務理事会（web） 同 第4回理事会（web）	
4月	1	金	細川亜美先生 北大病院周産母子センター助教着任	
	15	金	日産婦常務理事会	（東京）
	16	土	WIND理事会（web）	
	18	月	第4回IWJFミーティング（web）	
	23	土	日本臨床細胞学会第1回理事会（web）	
	25	月	中外製薬講演会 渡利教授座長	（札幌市）
	27	水	能代究先生学位審査中間審査	（臨床大講堂）
	28	木	山崎博之先生学位審査中間審査	（フラテ大研修室）
5月	7	土	WIND総会 北大産婦人科同門会第1回全理事会 北大産婦人科同門会総会・臨床セミナー 第38回日本産婦人科感染症学会学術集会 ～8日	（ニューオータニ札幌/web） （東京都）
	8	日	第55回北大産婦人科同門会・WIND合同ゴルフ大会	（札幌国際カントリークラブ）
	11	水	日産婦渉外委員会（web）	
	13	金	先端治療薬研究会	（東京）
	14	土	第146回信州産婦人科連合会学術講演会 渡利教授特別講演	（長野）
	15	日	第21回日本不妊カウンセリング学会学術集会（web）	
	16	月	ゼジューラ全国WEB講演会 渡利教授講演	（武田薬品北海道支店）
	19	木	第1回JCOG幹事会（web）	
	20	金	第95回日本超音波医学会学術集会 ～22日	（名古屋市）
	21	土	日本婦人科腫瘍学会第1回常務理事会（web）	
	22	日	第29回日本胎盤臨床医学会大会	（東京都/ハイブリッド）
	23	月	「Cureを目指して」卵巣がんの初回治療講演会 渡利教授座長	（モントレーエーデルホフ）
	25	水	AOF0G Congress 2022（web） WIND研修説明会	 （シミュレーションセンター/web）

27	金	日産婦第1回教育委員会/日産婦学術委員会 (web)	
28	土	日産婦第1回理事会	(東京都)
		第63回日本卵子学会学術集会 ~29日	(京都市)
31	火	日産婦医学教育活性化委員会 (web)	
6月	1	水	日産婦地方連絡委員会 (web)
	3	金	第32回日本産婦人科・新生児血液学会学術集会 ~4日 (東京都)
	4	土	北海道生殖医療カンファレンス 渡利教授座長 (札幌ビューホテル大通公園/web)
		第21回日本婦人科がん分子標的研究会 ~5日	(松江市)
	8	水	北海道対がん協会理事会 (web)
	10	金	第63回日本臨床細胞学会総会春期大会 ~12日 (グランドプリンス新高輪国際館パミール)
		同第2回理事会	
	11	土	同教育講演3 渡利教授座長 (オンデマンド配信)
		同総会・同Entertainment Program	
		第31回骨盤外科機能温存研究会	(東京都)
		第4回日本不育症学会学術集会	(名古屋市)
	12	日	細胞診専門医会総会
	15	水	徐先生学位論文公開発表会 (web)
	17	金	Endometrial Cancer Seminar in Nagasaki 渡利教授講演 (出島メッセ長崎)
	18	土	WINDハンズオンセミナー (北大シミュレーションセンター)
	20	月	第1回北海道臨床細胞学会理事会 (web)
	21	火	北海道思春期研究会幹事会 (web)
	24	金	第19回日本婦人科がん会議 ~25日 (国立がん研究センター/ハイブリッド)
		第19回日本婦人科がん会議世話人会 (web)	
		道東地区産婦人科医会 渡利教授講演	(釧路市)
	25	土	日産婦第1回臨時理事会・定時総会 (web)
	26	日	北海道思春期研究会 (web)
		日産婦全国地方委員会委員長会議 (web)	
	27	月	日産婦医学教育活性化委員会 (東京都)
	29	水	日本婦人科腫瘍学会子宮体がん治療ガイドライン全体会議 (web)
	30	木	徐道知先生 博士学位授与
		JCOG第1回班会議 (web)	
7月	1	金	眞山学徳 先生 医学研究院客員研究員として受入
		第46回日本遺伝カウンセリング学会学術集会 ~3日	(東京都)
	2	土	第19回北海道周産期談話会 (札幌大記念ホール)
		第24回日本女性骨盤底医学会 ~3日	(さいたま市)
	4	月	卵巢癌治療新時代- what can we do? - in Hokkaido 渡利教授座長 (モントレーデルホフ/web)
	8	金	IWJFミーティング (web)
	9	土	日本肉腫学会 JSA Open Symposium (web)
	10	日	第58回日本周産期・新生児医学会学術集会 ~12日 (横浜)
	13	水	日本婦人科腫瘍学会理事会 (久留米)

14	木	第64回日本婦人科腫瘍学会学術講演会・総会 ～16日 同高得点演題2 渡利教授座長 同新理事会	(久留米)
15	金	子宮体がん治療ガイドライン2023年版コンセンサスミーティング 渡利教授講演 Japan-Korea JGO Principal Editor Meeting JGOセッション 渡利教授座長	
19	火	道庁第1回周産期・小児医療検討委員会 (web)	
22	金	日産婦第1回理事懇談会・日産婦常務理事会	(東京)
23	土	第38回北海道甲状腺談話会	(札幌市)
25	月	卒業アルバム写真撮影	
28	木	第40回日本受精着床学会総会・学術講演会 ～29日	(東京都)
29	金	Recurrent Ovarian Cancer Seminar 渡利教授座長	(モントレーデルホフ/web)
8月	4	木	第74回日産婦学術講演会 ～7日 (福岡)
			海外招待者との意見交換会
	5	金	ランチョンセミナー/同シンポジウム 渡利教授座長 日韓パーティー
	6	土	医学教育活性委員会企画・KSOG海外派遣選考会 J-K-T Officers' meeting/日独Officers' meeting IWJF打ち合わせ (web) International Workshop for Junior Fellows 渡利教授座長 IWJF Party
	7	日	ランチョンセミナー 渡利教授座長
	13	土	TAOG JKT Officers' meeting (web)
	17	水	2022年度専門医筆記試験問題評価委員会 (web)
	19	金	北海道遺伝性腫瘍セミナー 渡利教授座長 (モントレーデルホフ)
	23	火	武田薬品社員向けWEB勉強会 渡利教授講演
	24	水	日産婦渉外委員会 (web)
	26	金	ASGO council meeting (web) Endometrial Cancer Virtual Seminar 渡利教授講演 (大阪)
	27	土	ASGO workshop ～28日 (中国・北京市) 日産婦サマースクール ～28日 (大阪)
	28	日	診療ガイドライン婦人科外来編2023コンセンサスミーティング (web)
	29	月	日産婦第2回教育委員会 (web)
	30	火	卵巣癌治療Up date 渡利教授特別講演 (手稲溪仁会病院)
	31	水	北海道がん・生殖医療ネットワーク会議 (web)
9月	2	金	第2回学術担当理事会・学術委員会 (web) Bring a paradigm shift to ovarian cancer therapy 渡利教授講演 (東京) 第44回日本母体胎児医学会学術集会 ～4日 (仙台市)
	3	土	日産婦第2回理事会 (東京)
	4	日	第41回産婦人科漢方研究会学術集会 (京都市)
	8	木	第62回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会 ～10日 (横浜/ハイブリッド) 第38回日本分娩研究会 (神戸市)

9	金	第63回日本母性衛生学会総会・学術集会 ～10日	(神戸市)
12	月	北海道生殖医学会役員会 (web)	
15	木	WIND周産母子医療センター働き方改革 (web)	
16	金	日本蛍光ガイド手術研究会第5回学術集会 ～17日	(東京)
17	土	第55回北海道病理談話会	(北大フラテ大研修室)
20	火	江別市HPVワクチン講演会講演	(はやし野幌店)
22	木	子宮体癌の薬物療法セミナー 渡利教授講演	(宇部市)
26	月	Bring a paradigm shift to ovarian cancer therapy 渡利教授講演	(東京)
30	金	第23回日本婦人科画像診断シンポジウム (JSAWI2022) ～10/1	(淡路市/ハイブリッド)
		国際婦人科癌学会 (IGCS2022) ～10/1	(ニューヨーク)
10月	7	金	第2回日産婦理事懇談会/日産婦常務理事会 (東京)
	8	土	第24回北海道出生前診断研究会 (天使病院/ハイブリッド)
	10	月	第2回 Welcome to OBGYN World! (日産婦学会) (web)
	11	火	日産婦専門医試験出題方針決定会議 (東京)
	12	水	日産婦学会第1回若手国際交流プログラムに関する小委員会 (web)
	13	木	JCOG第2回幹事会 (web)
	15	土	第31回日本婦人科がん検診学会総会・学術講演会 ～16日 (横浜市)
			第69回北日本産科婦人科学会 ～16日 (岩手)
			同役員会/Presidential Dinner
	16	日	同ランチョンセミナー 渡利教授座長
	17	月	岩手医科大学 渡利教授講義 (岩手)
			日本婦人科腫瘍学会第1回渉外委員会 (web)
	20	木	第60日本癌治療学会学術集会 ～22日 (神戸)
	21	金	日本婦人科腫瘍学会第2回常務理事会 (web)
	22	土	北海道産婦人科医会講演会 (北海道医師会館/ハイブリッド)
			第18回日本周産期メンタルヘルスケア学会学術集会 ～23日 (高崎市/ハイブリッド)
	23	日	第11回北海道産婦人科乳腺医学会 (web) 渡利教授学会長 同ランチョンセミナー/特別講演 渡利教授座長
	27	木	HPVワクチンブロック拠点事業行政機関向け説明会 (北大主催) (web)
	29	土	第52回北海道母性衛生学会学術講演会 渡利教授学会長 (学術交流会館)
			第8回日本産科婦人科遺伝診療学会学術講演会 ～30日 (新潟)
	30	日	同社員総会/同スポンサードセミナー渡利教授座長 第99回北海道産科婦人科学会学術講演会 (札幌大記念ホール)
11月	1	火	山田崇弘先生 北大病院臨床遺伝子診療部教授就任
	3	木	WIND理事会 (web)
			第67回日本生殖医学会学術講演会・総会 (横浜市)
	4	金	日産婦常務理事会 (web)
	5	土	第61回日本臨床細胞学会秋期大会 ～6日 (仙台/ハイブリッド)
			ランチョンセミナー 渡利教授講演 (web)
	8	火	JCOG1412写真中央判定会議 (ハイブリッド)
	9	水	第73回JGOG理事会 (web)
	11	金	第45回日本産婦人科手術学会 ～12日 (金沢市/ハイブリッド)

12	土	同シンポジウム5 渡利教授講演 第37回日本女性医学学会学術集会 ～13日	(米子/ハイブリッド)
13	日	シンポジウム3 渡利教授座長	
18	金	HPVワクチンフォーラム in 青森 渡利教授講演 第37回日本生殖免疫学会総会・学術集会 ～19日	(青森市) (高知市)
20	日	日産婦医学教育活性化委員会FD (web)	
21	月	日本絨毛性疾患研究会世話人会 (web) オンコロジー漢方セミナー 渡利教授座長	(ニューオータニイン札幌/web)
24	木	第66回日本新生児成育医学会・学術集会 ～26日	(横浜市)
25	金	北海道産科婦人科Master's Semminer 渡利教授特別発言・座長	(センチュリーロイヤルホテル)
26	土	第126回日本産科麻酔学会学術集会	(浜松市/ハイブリッド)
28	月	第14回東葛婦人科腫瘍カンファレンス 渡利教授特別講演	(東京)
12月	1 木	第6回産婦人科診療連携講演会 渡利教授特別講演	(仙台市)
	2 金	函館市医師会 渡利教授講演 第19回日本胎児治療学会学術集会 ～3日	(函館市) (大阪市)
	3 土	日本性感染症学会第35回学術大会 ～4日	(北九州市)
	4 日	第42回北海道臨床細胞学会総会・学術集会 北海道臨床細胞学会第1回評議員会	(北大臨床大講堂)
	5 月	子宮体癌 キイトルーダ+レンビマ併用療法 適応追加1周年セミナー in 北海道 渡利教授座長	
	6 火	臨床遺伝診療部定期講演会 山田崇弘先生講演	(臨床大講堂)
	7 水	日産婦第3回教育委員会 (web)	
	8 木	第35回日本内視鏡外科学会総会 ～10日	(名古屋市/ハイブリッド)
	9 金	学術奨励賞予備選考委員会 (web) 日産婦第3回学術委員会/日産婦渉外委員会 (web) 日本婦人科腫瘍学会第4回理事会 (web)	
	10 土	令和4年度事業計画会議/日産婦第3回理事会	(東京)
	13 火	北海道婦人科腫瘍と血栓フォーラム (web) 渡利教授座長	
	14 水	日本人類遺伝学会第67回大会 ～17日	(横浜市)
	15 木	第2回JCOG班会議 (web) 婦人科癌分子標的治療WEBセミナー 渡利教授講演	(福岡)
	17 土	北大産婦人科同門会同門会誌編集会議第2回全理事会 同門会・WIND学術講演会 第27回日本生殖内分泌学会学術集会 ～18日	(札幌パークホテル/web) (広島市)

産婦人科臨床統計（外来患者総数 2021.1.1～2021.12.31）

外来患者数	25803
婦人科新規患者総数 （入院中新来含む）	990
産科新規患者総数 （地域医療連携部経由:210）	408 *2014.6～紹介予約制に移行
婦人科再来総数	20667
専門外来患者総数	16112
腫瘍外来/腫瘍再来(婦人科新来再来含む)	5065
腫瘍・コルポ外来	1083
ST外来（土日祭日を含む）	5616
女性健康外来	2584
乳房外来	1004
リンパ浮腫外来（リンパ浮腫新来を含む）	542
リンパ浮腫ケア外来	216
女性アスリート外来	2
一般再来患者総数	4555
一般外来	3336
術前外来	462
予約外-休日再診等	757
産科再来総数	3738
産科妊婦外来	1732
産科予備枠	195
午後外来	116
産科特殊健診外来(初期+後期)	561
産後・避妊外来	286
遺伝・出生前診断外来(初診・再診含む)	462
胎児心エコー外来	114
新生児1ヶ月健診	272
在宅診療	0

○病床稼働率(%)

診療月	産科（42床）	婦人科(38床)	NICU（9床）
令和3年1月	52.5	78.4	92.8
令和3年2月	56.1	71.8	88.1
令和3年3月	65.7	75.5	91.8
令和3年4月	47.2	78.2	93.0
令和3年5月	35.6	57.9	77.1
令和3年6月	24.8	54.2	62.6
令和3年7月	44.5	65.2	73.5
令和3年8月	51.4	60.6	86.7
令和3年9月	58.9	72.5	90.4
令和3年10月	43.9	80.7	80.7
令和3年11月	64.5	80.8	92.6
令和3年12月	75.0	78.3	91.8
累計	51.7	71.2	85.1

※産科病床には、MFICUならびにNICU以外の新生児病床を含む。

MFICU稼働前(平成24年7月まで)：産科 24床、一般新生児 3床、GCU 11床

MFICU稼働後(平成24年8月から)：産科 23床、一般新生児 4床、GCU 11床

※4-1 42床には共通病床4床を含む。

※婦人科病床（固有床は38床）には、他科入院患者を含む。

産科臨床統計 2021

産科臨床統計 I

(2021.01.01~2021.12.31)

○ 分娩	胎児数	母体数	胎児数	母体数
正常分娩 ※ (※以下の異常を認めなかったものを正常分娩とした)	37	45		
異常分娩	235	(213)		
早産 (死産を除く)	53	(47)		
22週～27週	4	(3)		
28週～35週	34	(31)		
36週	15	(13)		
帝王切開 (適応別)	153	(140)		
常位胎盤早期剥離		(1)	(適応は重複あり)	
早産		(38)	分娩停止・回旋異常	(9)
既往帝切		(46)	前置・低置胎盤	(8)
骨盤位		(18)	胎児疾患	(28)
筋腫核出/腺筋症切除後		(6)	骨盤内腫瘍	(35)
			妊娠高血圧症候群	(25)
			(PIH、HELLP症候群、妊娠高血圧腎症)	
CPD(疑い)		()	TOLAC→不成功	(2)
多胎		(13)	社会的適応	(20)
母体合併症		(80)	子宮内感染	(1)
NRFS		(26)	TTTS	(2)
吸引分娩	4	(4)		
胎位異常 (死産を除く)	25	(22)		
骨盤位	25	(22)		
その他	0	()		
多胎 (死産を含む)			(死産を除く)	
双胎	25	(14)		24 (12)
MM		0	MM	()
MD	21	(12)	MD	20 (10)
DD	4	(2)	DD	4 (2)
TT	-			
DT	-			
品胎(TT品胎)	0	()		-
既往帝切 (死産を除く)				
帝切	45	(47)		
VBAC	0	()		
産科異常				
妊娠高血圧症候群 (PIH、妊娠高血圧腎症)		(30)	頸管裂傷	(1)
HELLP症候群		(1)	常位胎盤早期剥離	(1)
頸管縫縮術後		(6)	羊水過多	(5)
前置・低置胎盤		(12)	羊水過少	(4)
癒着胎盤		(2)		
死産	14	(16)	原因不明のIUFD	2 (4)
22週以上	5	(6)	MD双胎 不明	2 (1)
奇形	0	()	MD双胎 心不全	0 ()
			TT品胎 周産期感染	0 ()
12週～21週	1	(1)		
母体適応	0	()	自然流産 (IUFD含)	2 (2)
胎児異常	1	(1)	染色体異常	1 (1)
			計	272 258

(2021.01.01~2021.12.31)

○ 流産		母体数
自然流産		2
	12週未満(D&Cを要したもの)	1
	12週～21週	1
	22週～(IUFD)	0
人工流産	(人工妊娠中絶、人工流産)	9
	12週未満	4
	12週～21週	5
	母体疾患	0
	胎児異常	4
	染色体異常	1
	その他	0
計		11

(2021.01.01~2021.12.31)

○ IVF-ET(BT)妊娠		※ 12週未満の流産症例は含まない	
単胎		児数	母体数
		22	22
	うち、ZIFT	0	1
双胎		4	2
	うち、ZIFT	0	0
	MM	0	0
	MD	2	1
	DD	2	1
	TT	0	0
	DT	0	0
品胎		0	0

産科臨床統計 II

(2021.01.01~2021.12.31)

○ 合併症妊娠・ハイリスク妊娠（以下のベ母体数、重複あり）

中枢神経系（含む脳血管疾患）	22 例
呼吸器疾患	6 例
消化器疾患	9 例
腎泌尿器疾患	6 例
血液疾患	13 例
心疾患	8 例
内分泌代謝疾患	30 例
精神疾患	20 例
自己免疫疾患	19 例
血液型不適合	0 例

(2021.01.01~2021.12.31)

○ 胎児異常分娩症例 (22週以降・重複あり)

13トリソミー	0
18トリソミー	1
21トリソミー	3
心奇形	11
TGA	1
DORV	5
心内膜床欠損	1
エブスタイン奇形	0
心室中隔欠損	5
ファロー四徴症	4
その他	60
臍動静脈瘤	0
脳梁欠損	0
脳室拡大	1
キアリ奇形	0
水腎症	1
尿道下裂	0
MCDK	1
胎児胸水	1
胎児腹水	0
食道閉鎖	0
横隔膜ヘルニア	2
臍帯ヘルニア	0
先天性CMV感染	1
胎児軟骨無形成症	0
児頭骨盤不均衡	0
胎児脊髄髄膜瘤	0

産科臨床統計 III

(2021.1.1~2021.12.31)

○ 染色体検査実施理由（来院時）		AC	CVS
高年妊娠		16	1
	35~39	4	0
	40~	12	0
胎児異常		17	1
	胎児水腫/Cystic hygroma/NT肥厚	10	1
	その他の異常	7	0
先天異常児妊娠既往		0	0
	染色体異常	0	0
	その他の異常	0	0
非確定的検査：ハイリスク		1	0
不安（35歳未満）		0	0
均衡転座保因者		0	0
遺伝子診断		1	3
	脊椎肋骨異型成症2型	0	1
	Leigh脳症	1	2
計		35	5

○ 染色体検査結果			
正常核型		23	3
	46,XX	11	2
	46,XY	12	1
数的異常		10	1
	21trisomy	4	0
	18trisomy	4	1
	13trisomy	1	0
	45.x	1	0
構造異常		2	
	46.XX.add(7) (p15)	2	0
計		35	4

産科臨床統計 IV

(2021.1.1~2021.12.31)

○ 臍帯穿刺	0
--------	---

○ 胎児穿刺	
--------	--

胎児胸腔穿刺	3
胎児腹腔穿刺	0
胎児膀胱穿刺	0
胎児心嚢液穿刺	0

○ 胎児治療	(のべ母体数)
--------	---------

羊水減圧	4
羊水注入	0
胎児鏡下胎盤吻合血管レーザー凝固術	3
胎児胸腔・羊水腔シャント術	2
経母体的免疫グロブリン	0
経母体 β -stimulant投与（胎児徐脈）	0

計	9
---	---

TOLAC	VBAC成功	VBAC不成功
	0	0

産科臨床統計 V

(2021.1.1~2021.12.31)

○ 遺伝カウンセリング

症例数

出生前染色体検査に関するもの	349	
高齢妊娠		246
不安（35歳未満）		39
NT肥厚		29
胎児異常		16
染色体異常児妊娠既往		13
染色体転座保因者		0
非確定的検査:ハイリスク		6
前児胎児異常		0
遺伝子疾患に関するもの	2	
脊髄小脳変性症2型		1
Leigh脳症		1
流死産絨毛の遺伝学的検査	0	
染色体異常疑い		0
着床前診断相談1	1	
計	352	

○ 出生前染色体検査：非確定検査

血清マーカー		10
First trimester screening		150
NIPT		132
検査数の合計	262	

北海道大学病院 婦人科病棟

腫瘍グループ

2021年（1月～12月）臨床統計

総入院数 1032（前年 1025）

総手術数 301（前年 250）

腫瘍性疾患の主な手術件数(新規治療)

浸潤子宮頸癌、子宮頸部異形成

開腹 リンパ節郭清を伴う	11
腹腔鏡 リンパ節郭清を伴わない	5
腹腔鏡 リンパ節郭清を伴う	2
ロボット支援下広汎子宮全摘出術	0
子宮頸部切除術	42

子宮体癌

開腹 リンパ節郭清を伴わない	15
開腹 リンパ節郭清を伴う	9
腹腔鏡 リンパ節郭清を伴わない	6
腹腔鏡 リンパ節郭清を伴う	3
ロボット支援下子宮全摘術	3

卵巣卵管腹膜癌、境界悪性腫瘍

開腹 リンパ節郭清を伴わない	13
開腹 リンパ節郭清を伴う	15

外陰癌 1

陰癌 0

絨毛性疾患

胞状奇胎除去術	1
子宮全摘出術	0

良性疾患の主な手術件数

子宮筋腫核出術	腹腔鏡下および補助下	8
	開腹	0
子宮全摘出術	腹腔鏡下および補助下	20
	開腹	10
子宮附属器腫瘍摘出術	腹腔鏡	40
	開腹	30
子宮鏡手術	単独	9
その他		61

進行中・開始予定の治験&臨床試験

対象疾患	試験群 vs 対象群	エントリー期間
子宮頸癌IB-IIIB 広汎子宮全摘後 再発高リスク	JGOG1082 After試験 化学療法 (TC or TP) VS CCRT	2024/5
再発子宮頸癌	チソツマブ VS 非プラチナ化学療法	2023/1
進行・再発子宮体癌初回治療	ペムプロリズマブ VS TC	2023/5
子宮体癌／子宮内膜異型増殖症 に対する妊孕性温存治療後の 子宮内再発	JGOG2051 MPA単群・非盲検第Ⅱ相試験	2023/6
プラチナ抵抗性再発卵巣癌	ペムプロリズマブ+PTX±BEV VS プラセボ+PTX±BEV	2023/6
再発/持続性卵巣明細胞癌	選択的PI3K阻害剤CYH33 非盲検第Ⅱ 相試験	未定
ステージング手術が行われた 上皮性卵巣癌Ⅰ期	JGOG3020 経過観察 VS 化学療法(TC or DC)	2024/6
HRD陽性再発・ 難治性婦人科希少癌	JGOG2052 ニラパリブ単群・非盲検第Ⅱ相試験	2025/9

周産母子センター新生児統計

(2021.1.1 ~ 2021.12.31)

○ 出生体重区分別の新生児数(院外出生5例を含む)

出生体重区分	新生児数(院外)	(死亡数)
~1,000g	3(0)	(1)
1,000~1,500g	12(1)	(2)
1,500~2,000g	9(1)	(1)
2,000~2,500g	47(3)	(0)
2,500~4,000g	209(10)	(0)
4,000g~	1(0)	(0)
計	281(15)	(4)

○ Apgar Score 区分別の新生児数(院内出生)

Apgar Score (1 分)	新生児数	(死亡数)
0 ~ 3	10	(2)
4 ~ 6	11	(2)
7 ~10	245	(2)
計	266	(6)

- 1- 26週3日、363g、新生児仮死
- 2- 30週4日、1330g、カントレル症候群
- 3- 32週4日、1374g、ファロー四徴症、院外出生
- 4- 36週5日、1745g、腹壁欠損

○ 新生児外来数(産科) 307人

○ 新生児外来数(小児科) 1288人

外来患者数（人） 6602

手術数（件） 138

腹腔鏡	103
子宮鏡	34
その他	9
(重複あり)	

癒着剥離	33
内膜症病巣除去	29
LM	28
TLH	25
LUNA	10
付属器腫瘍摘除	13
ALFIX	4
CSS	3
頸管縫縮	3
異所性妊娠	3
腹腔鏡併用FT	1
(重複あり)	

ART関連

採卵周期数 10 (IVF 90 ICSI 10)

移植周期数 105 (凍結融解胚 91 新鮮胚 14)

凍結胚	臨床的妊娠数	34 (妊娠率 34/91⇒37.4%)
	分娩数	22 (生産率 22/91⇒24.2%)
	(患者あたり 22/55⇒40.0%)	

WIND関連施設臨床統計 2021

病 院 名	北海道大学病院	手稲溪仁会病院	天使病院	市立札幌病院	JOHO北海道病院	札幌厚生病院	北海道がんセンター	KKR札幌医療センター	勤医協札幌病院	千歳市民病院	富良野協会病院	釧路赤十字病院	函館中央病院
記 載 者	馬場武彦・渡邊大介・上藤正孝	和田 真一郎	藤枝 聡子	平山 恵美	山田 俊	札幌厚生病院	北海道がんセンター	KKR札幌医療センター	勤医協札幌病院	千歳市民病院	富良野協会病院	釧路赤十字病院	函館中央病院
外来患者数	25,803	29,816	12,103	14,041	9,345			15,736	10,405	13,781	6,225	34,000	11,879
新 来	1,398	2,313	322	781	525			492	791	1,560	708	4,000	1,030
再来/新来 (平均：倍)	24,405	27,503	11,781	13,260	8,820			15,244	9,614	12,221	5,517	30,000	10,849
	17.5	11.9	36.6	17.0	16.8			31.0	12.2	7.8	7.8	7.5	10.5
産科臨床統計													
流産	2	29	22	2	4			21	22	46	4	26	21
分娩	1	1	1	2	4			20	19	43	4	19	20
正常分娩	272	514	652	592	472			277	430	505	145	1,030	564
異常分娩	103	259	310	285	231			173	213	310	98	773	325
経膈分娩	169	255	341	307	241			104	217	195	47	257	236
吸引分娩	16	52	49	21	62			44	149	67	14	50	15
骨盤位経膈分娩	4	26	48	21	31			30	21	42	12	14	15
双胎	2			3	1					5		1	2
無痛分娩	1	1		6	2					2			3
VBAC				2				4					
早産	6	25	2	36	35			10	7	16	2	35	28
帝王切開	153	203	292	286	179			60	68	128	33	207	199
既往帝王切開	46	66	80	79	45			14	24	64	14	70	72
子宮手術後	4	19	10	4	6			2	2	3		7	3
胎児機能不全	28	19	52	26	38			13	10	7	6	9	24
分娩停止	9	9	27	21	13			12	5	32	5	35	26
胎位異常	11	12	18	31	13			8	9	10	6	34	25
多胎	13	12	29	36	19			1		1		13	22
その他	29			73				9	18	10	2	10	65
早産	53	44	117	167	106			20	7	26	2	209	75
22週～27週	4	3	1	25	4							8	6
28週～35週	34	28	64	97	63			11	2	3	1	63	36
36週	15	13	52	45	39			9	5	23	1	138	26
多胎	14	12	29	43	20			1	0	3	0	13	26
双胎	14	12	29	40	20			1	0	3	0	12	26
(NM)												1	
(MD)	13	4	10	16	12							2	6
(DD)	1	8	19	24	8			1		3		9	20
品胎				9								3	
その他												1	
産科合併症	168	406	291	301	193			62	99	92	21	620	301
HDP	31	43	59	29	31			12	5	11	5	26	69
HELLP	1	2	2	1	2				1			3	1
子癇													
DM	38	43	91	73	96			29	20	52	3	113	65
GDM		9	2	15	4			1	1			3	8
overt DM	4	11	2	7	2			3	20			6	5
胎盤異常前重胎盤								1	1	1		3	10
部分・辺縁前置胎盤								3					5
前置胎盤	3	11	7	3	1			1					
低置胎盤	3	15	4	5	6			3					
常位胎盤早期剝離	1	4	4	5	6			2					
FGR	15	23	41	31	19			2	30	2	2	6	39
先天性胎児異常	66	29	22	6	3			10	42	24	8	13	95
死産出血	6	2	57	23	53			3	73	30	1	3	1
人口流	5	2	1					1	27	9	1	7	13
12週以降	5							12				39	62
母体搬送	82	37	32	129	62			9	1			0	
(緊急車による搬送)搬入		4	7	2	8								
新生児 低出生体重児	72	64	131	177	111			28	30	0	8	117	100
1500～2499g	54	47	116	126	97			28	30	8	8	107	97
1000～1499g	11	9	12	30	14							7	10
<999g	7	8	3	21	20							3	9

婦人科臨床統計	北海道大学病院	手稲聖仁会病院	天使病院	市立札幌病院	JCHO北海道病院	札幌厚生病院	北海道がんセンター	KIR札幌医療センター	動医協札幌病院	千歳市民病院	富良野協会病院	釧路赤十字病院	函館中央病院
	症例数	症例数	症例数	症例数	症例数	症例数	症例数	症例数	症例数	症例数	症例数	症例数	症例数
浸潤癌	80	82	3	26	0			41	7	1	0	60	37
子宮頸癌	32	20		3				5				15	3
子宮体癌	24	40	2	15				21	6	1		30	14
卵巣癌	24	22	1	8				15	1			15	20
その他の癌(悪性腫瘍)	9	6	0	0	0			0	0	1	0	2	1
子宮肉腫	4	3											1
腹膜癌	3	2								1		1	
外陰癌	2	1											
卵巣境界悪性腫瘍	10	8		4				7				3	8
原発不明癌		1		1									
絨毛性疾患	1	2	0	0	0			0	1	3	0	1	3
胎状奇胎	1	2							1	3			3
侵入奇胎													
絨毛癌													
手術	429	1,198	29	210	42			319	156	90	5	1	397
子宮頸部悪性腫瘍手術	21	17		1				3				447	2
(うち腹腔鏡、ロボット手術)	7	2										10	0
子宮体部悪性腫瘍手術	23	43	2	17				15	6			28	11
(うち腹腔鏡、ロボット手術)	8	4		11								17	
子宮付置悪性腫瘍手術	21	36	1	12				7	1			26	15
(腹腔鏡を含む)													
外陰、陰道根治手術	1												
子宮GIN手術	31	132	6	34	8			55	12	15	0	75	42
円錐切除	26	77	6	19	8			45	8	15		62	18
レーザー凝固		19		9									13
子宮全摘	5	36		6				10	4			13	11
良性子宮腫瘍手術	128	628	5	74	16			108	44	28	1	156	197
子宮全開腹手術	14	12	3	6				38	16	11		5	4
腹腔鏡手術	21	400		38	16			43	4	4		111	147
ロボット手術	24	8		5									
腔式手術		2		2				3	15	8			
筋層形開腹手術			2						3	1			6
腹腔鏡手術	31	169		4				15				24	36
腔式手術		37		5					3	2		5	
子宮鏡	38			14				9	3			11	4
良性子宮付置悪性腫瘍(子宮全開腹・腹腔鏡を含む)	56	175	14	33	16			78	22	28	2	83	25
腹腔鏡手術	39	168	12	30	15			61	7	7		78	24
開腹手術	17	7	2	3	1			17	15	21	2	5	1
子宮内膜症	28	69	1	9	2			11	7	1	0	27	9
腹腔鏡手術	28	69	1	8	2			11	7	1		26	9
開腹手術				1								1	
骨盤臓器脱手術		15		13				4	26	19		42	11
子宮奇形、道徳手術	6								0				
その他	114	83		17				38	38	1	2		85

生殖医療統計	ART	周期数	患者数	周期数	患者数	周期数	患者数	周期数	患者数	周期数	患者数	周期数	患者数
	周期数	患者数	周期数	患者数	周期数	患者数	周期数	患者数	周期数	患者数	周期数	患者数	患者数
探卵数	100	45	172	117	0	0	0	4	4	0	0	0	0
(IVF)	90	37	4										
(IGSI)	10	8	115	61									
(その他: IVF+IGSI)			53	53									
胚移植	105	62	222	122	0	0	0	7	6	0	0	0	0
新鮮胚	14	7	8										
凍結胚	91	55	214	115				7	6				
妊娠	35	33	55	54	0	0	0	4	4	0	0	0	0
新鮮胚	1	1						4	4				
凍結胚	34	32	55	54				2	2	0	0	0	0
分娩	22	22	38	38	0	0	0	2	2	0	0	0	0
新鮮胚													
凍結胚	22	22	38	38				2	2				
その他、特色ある医療:			—※別記1										

※別記1 胎子分娩、ロボット手術、NIPT基幹施設、がん生殖医療、不育症治療

WIND 関連施設臨床統計 2021

病 院 名	市立産科病院	旭川厚生病院	旭川産科病院	吉小牧市立病院	砂川市立病院	王子総合病院	町立中標津病院	俱知安厚生病院	八雲総合病院	江別市立病院	網走厚生病院	小樽市立病院	合 計
記 載 者	秋江 惟能	光部 泰六郎	藤本 俊郎	山下 陽一郎	笠原 玲奈	柳野 真紀	早川 和彦	白根 透	中郷 寛二郎	船木 寛博	櫻井 愛美		
外来患者数	33,146	16,426	16,005	14,576	8,418	16,019	4,951	4,631	10,567	8,077	7,207		323,157
新 来	1,989	1,146	1,485	1,525	814	1,444	962	512	851	1,103	1,139		26,890
再来	31,157	15,280	14,520	13,051	7,604	14,575	3,989	4,119	9,716	6,974	6,088		296,267
再来/新来 (平均：倍)	15.7	13.3	9.8	8.6	9.3	10.1	4.1	8.0	11.4	6.3	5.3		11.0
産科臨床統計													
流産	32	6	20	0	0	4	18	8	3	13	0		303
12週～21週	26	3	13	16	不明	不明	15	8	3	12			253
22週～27週	6	3	7		不明	4	3			1			62
分挽	842	819	655	454	186	353	149	93	440	253	0		9,364
正常分娩	498	496	407	328	159	189	92	76	357	197	0		5,588
異常分娩	344	323	248	126	27	164	57	17	83	56	0		3,776
経陰分娩	90	151	147	26	10	89	14	5		12			1,010
吸引分娩	10	20	45	14	2	14	10	1	24	5			409
骨盤位経陰分娩	2												16
双胎	2	4	3										23
無痛分娩													62
VBAC	11												15
早産	25	66	23	12	8	3	4			7			361
帝王切開	254	123	174	100	17	75	43	12	83	44			2,568
既往帝王切開	86	59	67	57	10	32	1	7		22			962
子宮手術後	4	2	2	1		2				2			75
胎児機能不全	24	11	9	6	3	17	5		13				323
分娩停止	5	5	16	12		14	10	2	275	3			275
分娩異常	13	7	16	7	1	5			2	8			242
多胎	18	11	16	2					1	1			195
その他	93	36	37			14	26	2		5			440
早産	62	66	64	26	8	3	4	3	11	10	0		975
22週～27週	2	3	3	1									54
28週～35週	19	48	38	13		1		1	2	5			489
36週	41	11	15	12	8	2	4	2	9	5			438
多胎	20	15	19	2		0		0		1	0		219
双胎	20	15	18	2		0		0		1	0		214
(NM)													1
(MD)	6	4	4	4									79
(DD)	14	11	14							1			134
品胎			3										5
その他													0
産科合併症	81	172	105	75	51	92	16	15	238	27			3,426
HDP	24	20	15	21	2	10	5	3	9	3			433
HELLP	1			1						1			16
子癇			1					1		1			3
DM	29	48	59	40	8	34	1	3	34	10			889
GDM	2	2	1	2	0	4			1	1			54
overt DM	1	3	6										36
胎盤異常前重胎盤	4	2	5						1				52
胎盤・辺縁前置胎盤	1	3	1	3		1							31
癒着胎盤	4	5	3										64
低置胎盤	3	1	3										41
常位胎盤早期剝離	4	15	7	4		1	5	3	6	1			256
FGR	8	2	6							1			125
先天性胎児異常	9	74	6	4		42	5	5	184	9			737
死産出血	5	3	0	0		14	23	12					186
人口流	9	2	9	0		4			4				90
12週以降	39	38	25	0		0			2				560
母体搬送	3	0	7	1		2	5	6	4	5			76
(救急車による搬送)搬入													
新生児 低出生体重児	106	78	97	53	6	10	9	5	34	14	0		1,322
1500~2499g	84	71	86	51	6	10	9	5	34	14			842
1000~1499g	4	6	10	3									108
-999g	18	1	1	3									63

婦人科臨床統計	帯広厚生病院	旭川厚生病院	苫小牧市立病院	砂川市立病院	王子総合病院	町立中標津病院	俱知安厚生病院	八雲総合病院	江別市立病院	網走厚生病院	小樽市立病院	合 計
浸潤癌	症例数 135	症例数 58	症例数 14	症例数 39	症例数 67	症例数 0	症例数 0	症例数 1	症例数 12	症例数 16	症例数 48	症例数 727
子宮頸癌	32	16	4	17	23				4	1	16	191
子宮体癌	54	22	5	10	31			1	6	14	22	318
卵巣癌	49	20	5	12	13				2	1	10	218
その他の癌(悪性腫瘍)	11	3	2	5	6	0	0	0	0	1	4	51
子宮肉腫	1	2	1	1	1					1	2	17
腹膜癌	10	1	1	2	4							25
外陰癌				2								8
卵巣境界悪性腫瘍	8	9	1	6	5				2	1	3	75
原発不明癌											1	3
絨毛性癌	2	6	2	2	1	0	1	0	1	0	0	26
胎状奇胎	2	4	2	2	1		1		1			23
侵入奇胎		2										2
絨毛癌												1
手術	392	454	115	154	315	9	5	34	82	72	216	5,170
子宮頸部悪性腫瘍手術	13	8	1		8						5	89
(うち腹膜癌、ロボット手術)	2				3						3	19
子宮体部悪性腫瘍手術	33	22	4	7	30			1	2	3	10	257
(うち腹膜癌、ロボット手術)	23	11			12				1		8	95
子宮付置悪性腫瘍手術	46	33	6	5	13				4		13	239
(腹膜癌を含む)												
外陰、陰嚢根治手術												
子宮GIN手術	44	67	23	35	35	6	1	2	12	12	13	660
円錐切除	32	61	23	28	30	4	1	2	11	7	10	493
レーザー凝固										4		45
子宮全摘	12	6		7	5	2			1		3	122
良性子宮腫瘍手術	122	124	47	74	83	3	2	10	31	29	54	1,962
子宮全摘除手術	12	19	10	8	15		1		12	18	9	213
腹腔鏡手術	33	42	21	53	19			9	11	5		1,012
ロボット手術	55	17			39							148
腔式手術	8	1	1	5	4	2	1		5		3	46
筋腫剝離手術	4	3	1							2		36
腹腔鏡手術	7	38	7	7	4			1	3	1	5	362
腔式手術	1	2	2			1						20
子宮鏡	2	5	5	1	2					2	2	135
良性子宮付置悪性腫瘍手術 (子宮ミョミレーン腫瘍を含む)	72	90	18	0	58	0	1	9	23	14	46	863
腹腔鏡手術	55	67	12		42			8	4	8	35	672
開腹手術	17	23	6		16		1	1	19	6	11	191
子宮内膜症	2	11	3	2	23	0	1	3	1	2	8	220
腹腔鏡手術	2	11	3	2	22			3	1	1		215
開腹手術					1		1			1		5
骨盤臓器脱手術	12	28	4	5	26				9	7	33	254
子宮奇形、遠隔手術												
その他	48	71	9	26	39			9		5	32	617

生殖医療統計	周期数	患者数	周期数	患者数	周期数	患者数	周期数	患者数	周期数	患者数	周期数	患者数
ART	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	166
採卵数												276
(IVF)												98
(IGSI)												44
(その他：IVF+IGSI)												125
胚移植	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	69
新鮮胚												53
凍結胚												53
妊娠	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	334
凍結胚												190
凍結胚												22
分娩	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	312
凍結胚												14
凍結胚												94
その他、特色ある医療：												91
												1
												93
												90
												62
												62
												62

※札幌厚生病院、北海道がんセンターについては「Annual report 2021」の報告が期日までに間に合わなかったことから空欄となっています。

学会・研究会発表（筆頭演者分のみ）

（2021年11月～2022年10月）

（＊過年度未掲載分）

特別講演 一

シンポジウム等 般

2018 International Joint Conference on Genetics and Medicine (IJCGM 2018)＊	2018年11月29-30日	(ソウル)	1
第4回日本産科婦人科遺伝診療学会学術集会＊	2018年12月14-15日	(東京)	1
第17回日本臨床腫瘍学会＊	2019年7月18-20日	(京都)	1
第59回日本先天異常学会＊	2019年7月26-29日	(名古屋)	1
第64回日本人類遺伝学会学術集会＊	2019年11月6-9日	(長崎)	1
第5回日本産科婦人科遺伝診療学会学術集会＊	2019年12月20-21日	(東京)	2
第6回日本産科婦人科遺伝診療学会学術集会＊	2020年11月16日	(金沢, WEB)	1
第65回日本人類遺伝学会学術集会＊	2020年11月18日-12月2日	(名古屋, WEB)	1
日本超音波医学会第93回学術集会＊	2020年12月1-3日	(仙台, WEB)	1
第31回日本産婦人科新生児血液学会学術集会	2021年6月4-13日	(長野, WEB)	1
第36回日本女性医学学会学術集会	11月6-7日	(大阪, ハイブリット)	2
第66回日本生殖医学会学術講演会	11月11-12日	(米子, ハイブリット)	3
The 7th Biennial Meeting of Asian Society of Gynecologic Oncology	11月25-27日	(バンコク, WEB)	3
第34回日本内視鏡外科学会総会	12月2-4日	(神戸, ハイブリット)	2
Hot topics in Neonatology 2021	12月5-8日	(ナショナルハーバー)	1
第7回日本産科婦人科遺伝診療学会学術集会	12月17-18日	(大阪)	1
日本肺サーファクタント・界面医学会第57回学術研究会	2022年1月15日	(東京, ハイブリット)	1
第43回日本エンドメトリオーシス学会学術講演会	1月22-23日	(東京, ハイブリット)	2
第19回日本臨床腫瘍学会学術集会	2月17-19日	(京都, ハイブリット)	1
第14回日本ロボット外科学会学術集会	2月26-27日	(WEB)	3
第57回日本東洋心身医学研究会	3月5日	(WEB)	1
第37回石川県産婦人科学会学術集会	3月12日	(金沢)	1
第15回日本骨盤臓器脱手術学会学術集会	4月9-10日	(横浜)	1
第146回信州産婦人科連合会 学術講演会	5月14日	(長野, ハイブリット)	1
第63回日本神経学会学術大会	5月18-21日	(東京)	1
27th Asia & Oceania Federation of Obstetrics and Gynaecology	5月23-26日	(バリ)	1
第72回日本東洋医学会学術総会	5月27-29日	(札幌, WEB)	1
第32回日本産婦人科・新生児血液学会	6月3-4日	(東京, ハイブリット)	1

学会・研究会発表（筆頭演者分のみ）

（2021年11月～2022年10月）

（＊過年度未掲載分）

特別講演 一

シンポジウム等 般

第63回日本臨床細胞学会総会（春期大会）	6月10-12日	（東京，ハイフ®リット®）	1	
第28回日本遺伝性腫瘍学会学術講演会	6月17-18日	（岡山，ハイフ®リット®）	1	
第143回関東連合産科婦人科学会学術集会	6月18-19日	（東京）	1	
第40回北海道思春期研究会	6月26日	（WEB）	1	
第19回北海道周産期談話会	7月2日	（札幌）	2	8
第58回日本周産期・新生児医学会学術集会	7月10-12日	（横浜，ハイフ®リット®）	4	
第64回日本婦人科腫瘍学会学術講演会	7月14-16日	（久留米，ハイフ®リット®）	3	7
第74回日本産科婦人科学会学術講演会	8月4-7日	（福岡，ハイフ®リット®）	2	22
第21回日本遺伝看護学会学術大会	8月27-28日	（WEB）	1	
第6回日本リンパ浮腫治療学会学術集会	9月3-4日	（東京，ハイフ®リット®）	1	
第62回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会	9月8-10日	（横浜，ハイフ®リット®）	4	
日本外科教育研究会第9回Surgical Education Summit	9月17-18日	（札幌，ハイフ®リット®）	1	
第22回北海道産婦人科低侵襲手術研究会	9月17日	（札幌，WEB）	3	
12th Asia Pacific Conference of Gynecological Surgery (APCGS 2022)	10月8-9日	（パリ）	2	
第69回北日本産科婦人科学会総会・学術講演会	10月15-16日	（盛岡，ハイフ®リット®）	13	
第54回日本小児呼吸器学会	10月15日	（千葉）	1	
第52回北海道母性衛生学会学術集会	10月29日	（札幌）	2	
第8回日本産科婦人科遺伝診療学会学術集会	10月29-30日	（新潟）	2	
第99回北海道産科婦人科学会学術講演会	10月30日	（札幌）	3	
計			31	92
令和3年			28	148
2年			9	88
元年			28	172
平成30年			28	178

国内学会・研究会

(2021 年 11 月～2022 年 10 月)

(※：過年度未掲載分)

第 4 回日本産科婦人科遺伝診療学会学術集会 2018 年 12 月 14-15 日 (東京) ※
山田崇弘 (周産期講義)「出生前遺伝学的検査と医療倫理 (関連し遵守すべき法律, 見解,
指針, ガイドライン, 提言)」

第 17 回日本臨床腫瘍学会 2019 年 7 月 18-20 日 (京都) ※
山田崇弘 (合同シンポジウム)「がんゲノム医療における遺伝カウンセリング体制」

第 59 回日本先天異常学会 2019 年 7 月 26-29 日 (名古屋) ※
山田崇弘 「産科一次施設において出生前診断の相談を受けるための研修マニュアル作成
にあたっての調査」

第 64 回日本人類遺伝学会学術集会 2019 年 11 月 6-9 日 (長崎) ※
山田崇弘 (教育セッション)「生殖医療・出生前診断」

第 5 回日本産科婦人科遺伝診療学会学術集会 2019 年 12 月 20-21 日 (東京) ※
山田崇弘 (シンポジウム)「適切な遺伝カウンセリングを実施できる出生前遺伝学検査供
給体制の均てん化への取り組み」
山田崇弘 (周産期講義)「出生前遺伝学的検査異常に対する実臨床でのアプローチ法-超音
波検査の活用-」

第 6 回日本産科婦人科遺伝診療学会学術集会 2020 年 11 月 16 日 (金沢, WEB 配信) ※
山田崇弘 (周産期講義)「出生前診断とは?そしてその施設間連携は?」

第 65 回日本人類遺伝学会学術集会 2020 年 11 月 18 日-12 月 2 日 (名古屋, WEB 配信) ※
山田崇弘 (シンポジウム)「Nation-wide registry system for bone dysplasias」

日本超音波医学会第 93 回学術集会 2020 年 12 月 1-3 日 (仙台, WEB 配信) ※
山田崇弘 「出生前遺伝学的検査と遺伝カウンセリング体制の構築: 超音波検査の活用に
ついて」

第 31 回日本産婦人科新生児血液学会学術集会 2021 年 6 月 4-13 日 (長野, WEB 配信) ※
山田崇弘 (シンポジウム)「日本における出生前遺伝学的検査提供体制～相互理解と連携
を目指した取り組み～」

第 36 回日本女性医学学会学術集会 11 月 6-7 日 (大阪, ハイブリッド)
小林範子 「若年期から妊娠, 分娩をへて長期間骨量管理を行っているターナー症候群の
一例」
藤野敬史 「産婦人科医が骨粗鬆症診療を始めるにあたって Overview」

第 66 回日本生殖医学会学術講演会 11 月 11-12 日 (米子, ハイブリッド)
藤井タケル 「ART により計画的な分娩に至った多発性硬化症の一例」
山田秀人 「不育症, 産科異常の原因としてのネオ・セルフ抗体」
和田真一郎 「腹腔鏡下子宮筋腫核出術後に開腹・腹腔鏡手術を行った 371 例における癒着の解析」

第 34 回日本内視鏡外科学会総会 12 月 2-4 日 (神戸, ハイブリッド)
小田切哲二 「ロボット支援下に直腸高位前方切除と子宮全摘, 両側付属器切除術を同時に施行した 1 例」
和田真一郎 「腹腔鏡下子宮筋腫核出術における子宮内膜穿孔症例の妊娠への影響について」

第 7 回日本産科婦人科遺伝診療学会学術集会 12 月 17-18 日 (大阪)
山田崇弘 (周産期講義) 「出生前遺伝学的検査と医療倫理 (関連し遵守すべき法律, 見解, 指針, ガイドライン, 提言)」

日本肺サーファクタント・界面医学会第 57 回学術研究会
2022 年 1 月 15 日 (東京, ハイブリッド)
長 和俊 (特別講演) 「OAS1 異常症発見までの道のり」

第 43 回日本エンドメトリオーシス学会学術講演会 1 月 22-23 日 (東京, ハイブリッド)
小田切哲二 「若年子宮内膜症の 1 症例」
和田真一郎 「蛍光尿管カテーテルを使用した重症子宮内膜症の TLH」

第 19 回日本臨床腫瘍学会学術集会 2 月 17-19 日 (京都, ハイブリッド)
朝野拓史 (Mini-Oral) 「Antitumor activity of niraparib for patient-derived xenografts of rare subtypes of ovarian cancer」

第 14 回日本ロボット外科学会学術集会 2 月 26-27 日 (WEB 配信)
中陳哲也 「ロボット手術鉗子で把持操作する Secondary instrument としての吸引管とリンパ節郭清術」
中陳哲也 「ロボット支援下仙骨固定術の初期経験」
光部兼六郎 「当科における腹腔鏡下仙骨腔固定術 (LSC) からロボット支援下手術 (RSC) への移行について」

第 57 回日本東洋心身医学研究会 3 月 5 日 (WEB 配信)
小林範子 「治療に苦慮した全般性不安障害に伴う胃症状に対し漢方治療が有効であった一例」

第 37 回石川県産婦人科学会学術集会 3 月 12 日 (金沢)
渡利英道 (特別講演) 「子宮体癌の診断・治療の現状と今後の課題」

第 15 回日本骨盤臓器脱手術学会学術集会 4 月 9-10 日 (横浜)
勘野真紀 「ロボット支援下仙骨腔固定術 (RSC) への移行」

第 146 回信州産婦人科連合会学術講演会 5 月 14 日 (長野, ハイブリッド)
渡利英道 (特別講演) 「子宮体癌の診断・治療の現状と今後の課題」

第 63 回日本神経学会学術大会 5 月 18-21 日 (東京)
山田崇弘 (教育講演)「着床前診断についての最近の課題」

第 72 回日本東洋医学会学術総会 5 月 27-29 日 (札幌, WEB 配信)
八重樫 稔 (会頭講演)「「気」の問題とその周辺」

第 32 回日本産婦人科・新生児血液学会 6 月 3-4 日 (東京, ハイブリッド)
山田秀人 (シンポジウム)「COVID-19 と妊婦」

第 63 回日本臨床細胞学会総会 (春期大会) 6 月 10-12 日 (東京, ハイブリッド)
朝野拓史 (シンポジウム)「患者体腔液がん細胞由来 3 次元オルガノイド培養を用いた薬剤スクリーニングの取り組み」

第 28 回日本遺伝性腫瘍学会学術講演会 6 月 17-18 日 (岡山, ハイブリッド)
鈴木裕太郎 「子宮体癌に対するリンチ症候群のスクリーニング戦略：前向き観察研究」

第 143 回関東連合産科婦人科学会学術集会 6 月 18-19 日 (東京)
山田崇弘 (シンポジウム)「全ての妊婦に出生前検査の情報が提供される時代～出生前遺伝学的検査の提供体制を考える」

第 40 回北海道思春期研究会 6 月 26 日 (WEB 配信)
小林範子 「思春期女子の月経に関する諸問題」

第 19 回北海道周産期談話会 7 月 2 日 (札幌)
馬詰 武 (ランチョンセミナー)「母体の心血管エコー」
古瀬優太 (シンポジウム)「北海道大学病院における COVID-19 母体から出生した児の管理経験」
安藤里沙 「妊娠中のサイトメガロウイルス感染予防啓発による効果の検討」
大中一矢 「妊娠中に腎機能障害が進行したアルコール性肝硬変合併妊娠の一例」
中村有里 「症候性先天性サイトメガロウイルス感染の一例」
能代 究 「当院における COVID-19 妊婦の対応」
箱山聖子 「出血が遷延した絨毛膜下血腫 18 例の検討」
山本早姫 「緊急帝王切開術後の産科危機的出血に対し子宮動脈塞栓術と腹壁血腫除去術を要した一例」
吉川 栞 「産科セミオープンシステムにより周産期管理を行った 100 例の検討」
高岡真佐人 「札幌での COVID-19 妊婦の発生状況」

第 58 回日本周産期・新生児医学会学術集会 7 月 10-12 日 (横浜, ハイブリッド)
安藤里沙 「妊娠中のサイトメガロウイルス感染予防啓発による効果の検討」
平山恵美 「「妊娠初期に頸管ポリープを認めた症例の臨床像」
本庄遼太 「遺伝子解析により診断した ABCA3 欠乏症の一例」
米原利栄 「当院で管理した胎児気管支原性嚢胞の一例」

第 64 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会 7 月 14-16 日 (久留米, ハイブリッド)
渡利英道 (子宮体がん治療ガイドライン 2023 年版コンセンサスミーティング)「初回手術療法について」
金野陽輔 (教育プログラム)「子宮体癌の手術療法」

見延進一郎 (ワークショップ)「当院での PARP 阻害薬 (オラパリブ) の使用経験について」
 朝野拓史 (高得点演題)「子宮頸部すりガラス細胞癌の分子免疫学的検討」
 鈴木裕太郎 (高得点演題)「子宮体癌におけるセンチネルリンパ節の術中迅速診断に基づくナビゲーション手術の前方視的研究」
 黒須博之 「卵巢癌維持療法におけるニラパリブの使用経験」
 櫻井愛美 「新規進行期分類 (日産婦 2020, FIGO2018) に再分類した子宮頸癌患者の検討」
 松宮寛子 「Olaparib 維持療法後の再発治療後に Niraparib 維持療法を施行した 2 例」
 山崎博之 「周産期に診断された子宮頸癌 18 例の後方視的検討」
 山田竜太郎 「婦人科癌におけるサルコペニアの有病率についての検討」

第 74 回日本産科婦人科学会学術講演会

8 月 4-7 日 (福岡, バイブリッド)

山田秀人 (生涯研修プログラム)「新型コロナウイルス感染と妊娠出産」
 山田秀人 (高得点演題)「原因不明の不育症を対象とした静注免疫グロブリンの二重盲検群間比較試験」
 馬詰 武 (専攻医教育プログラム)「急速遂娩法と子宮底圧迫法」
 朝野拓史 「子宮頸癌患者由来オルガノイドの樹立方法の検討」
 石塚泰也 「子宮頸部すりガラス細胞癌におけるがん関連遺伝子変異の特徴」
 井平 圭 「リクルートはゴールではなくスタートである～WIND (北海道大学産婦人科) の次なる一手～」
 宇田智浩 「周産期専門医不在の地方病院において高次医療機関と連携した遠隔妊婦診療の取り組み」
 小田切哲二 「若年チョコレート嚢胞に対し LEP+アルコール固定が有効であった 1 症例」
 黒須博之 「卵巢癌希少組織型患者由来ゼノグラフトモデルを用いたニラパリブの抗腫瘍効果の検討」
 小舘英明 「卵巢原発の腎芽腫成分を有する成熟嚢胞性奇形腫の一例」
 小林雄大 (専攻医)「婦人科悪性腫瘍の化学療法施行中に治療関連骨髄異形成症候群を発症した 3 症例」
 櫻井愛美 「卵管膨大部妊娠で卵管切除後に同側残存卵管峡部双胎妊娠を来した 1 例」
 佐藤元哉 「リトドリン塩酸塩による横紋筋融解症を契機に筋強直性ジストロフィー合併妊娠と診断された 1 例」
 鈴木裕太郎 「子宮体癌におけるセンチネルリンパ節 (SLN) の術中迅速診断に基づくナビゲーション手術の前方視的研究」
 首藤聡子 「妊孕性温存を希望する子宮体癌および子宮内膜異型増殖症患者に対する子宮内膜全面搔爬に子宮鏡下子宮内膜腫瘍摘出術を併用する試み」
 董 培新 「Long non-coding RNA DLEU2 drives EMT and glycolysis in endometrial cancer through HK2 by binding with miR-455」
 中島亜矢子 「腹腔鏡下手術後に子宮肉腫と診断された症例の再発リスクについての検討」
 三國史嵩 「胎児過成長, 羊水過多を呈し, 出生後に Cantu 症候群と診断された児の 1 例」
 三坂琴美 「乳癌術後タモキシフェン療法後に腹膜子宮内膜症の悪性転化を認めた一例」
 山崎博之 「The modified molecular classifier combined with conventional clinicopathologic risk factors well stratify the prognosis of the patients with endometrial cancer treated with complete staging surgery and adjuvant chemotherapy.」
 山田竜太郎 「子宮頸癌 IB1 期に対しての鏡視下 (ロボットを含む) 広汎子宮全摘術の検討」
 山田和佳 「1 児に全前脳胞症を合併した一絨毛膜二羊膜双胎の 1 例」
 山本竜太郎 「COVID-19 妊婦の転帰予測因子の検討」
 吉川 栞 (研修医)「カルボプラチンによる過敏性反応発症後のプラチナ製剤再投与に関する

後方視的検討」

第 21 回日本遺伝看護学会学術大会 8 月 27-28 日 (WEB 配信)
山田崇弘 (特別講演)「全ての妊婦に出生前検査の情報が提供される時代～何が変わろうとしているのか～」

第 6 回日本リンパ浮腫治療学会学術集会 9 月 3-4 日 (東京, ハイブリッド)
小林範子 「蜂窩織炎に対する漢方治療の有効性についての検討」

第 62 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会 9 月 8-10 日 (横浜, ハイブリッド)
和田真一郎 (セミライブサージェリー)「巨大子宮の TLH を完遂するための戦略」
福士義将 「膀胱子宮内膜症合併子宮腺筋症に対しロボット支援腹腔鏡下子宮全摘術および膀胱部分切除術を施行した 2 症例の報告」
森脇征史 「ロボット支援腹腔鏡下子宮全摘術における子宮マニピュレーターを用いない頸部周囲操作」
宮城正太 「子宮内膜症性嚢胞にサルモネラ菌感染を伴った 1 例」

日本外科教育研究会第 9 回 Surgical Education Summit 9 月 17-18 日 (札幌, ハイブリッド)
井平 圭 「専攻医を対象とした手術前説明のトレーニング」

第 22 回北海道産婦人科低侵襲手術研究会 9 月 17 日 (札幌, WEB 配信)
工藤ありさ 「凍結融解胚移植後の腹膜妊娠に対して腹腔鏡下に診断・治療を行った 1 例」
首藤聡子 「当院におけるロボット支援下腹腔鏡下仙骨固定術の導入経験」
米原利栄 「当院での骨盤臓器脱手術の現状」

第 69 回北日本産科婦人科学会総会・学術講演会 10 月 15-16 日 (盛岡, ハイブリッド)
五十嵐冬華 (優秀演題)「当院におけるジノプロストン腔内留置用製剤 (プロウペス®) の使用経験」
大中一矢 「妊娠中期に腎障害が増悪したアルコール性肝硬変合併妊娠の一例」
鎌田奈都子 「胎児機能不全をきたした前置血管の一例」
北川裕太郎 (研修医)「1p36 欠失症候群と 15q13 欠失が合併した胎児染色体異常の 1 例」
小林雄大 (専攻医)「子宮腔部潰瘍を契機に診断されたベーチェット病の 1 例」
西巻 梓 「先天性横隔膜ヘルニアに臍帯ヘルニアを合併した一例」
高岡真佐人 「サイトメガロウイルス感染症との鑑別を要した 4p 欠失症候群の一例」
中山大輝 「凍結融解胚移植後の原発性腹膜妊娠の一例」
伏津建太郎 「盲腸癌の子宮転移の 1 例」
松井優祐 「妊娠初期の細胞診で AGC と判定し、妊娠 30 週で子宮頸部高異型度神経内分泌癌と診断した一例」
三國史嵩 「当院における子宮体癌に対するレンバチニブ+ペムブロリズマブ併用療法の使用経験」
安田真子 「子宮動脈塞栓術既往のある胚盤胞移植妊娠で侵入胎盤となった一例」
山本早姫 (研修医)「カルボプラチンによる過敏性反応発生後のプラチナ製剤再投与に関する後方視的検討」

第 54 回日本小児呼吸器学会 10 月 15 日 (千葉)
長 和俊 (ミニレクチャー)「遺伝性間質性肺疾患」

第 52 回北海道母性衛生学会学術集会

10 月 29 日（札幌）

古瀬優太 （ミニレクチャー）「子ども虐待と周産期医療」

蝦名康彦 「産後うつ病に対する妊娠期の予防的介入～実施状況と影響因子の検討」

第 8 回日本産科婦人科遺伝診療学会学術集会

10 月 29-30 日（新潟）

山田崇弘 （周産期講義）「出生前遺伝学的検査と医療倫理（関連し遵守すべき法律，見解，指針，ガイドライン，提言）」

山田崇弘 （ランチョンセミナー）「新たな時代の出生前遺伝学的検査提供体制～医療と行政が手を取り合って妊婦とパートナーを支える」

第 99 回北海道産科婦人科学会学術講演会

10 月 30 日（札幌）

田畑智章 「付属器切除後に腹膜に発生した明細胞癌の 1 例」

山口正博 「原因不明の大量性器出血を来し，子宮全摘後の検体で子宮動静脈奇形が疑われた 1 例」

吉川 栞（研修医）「疼痛を伴った外陰部潰瘍にステロイド治療が奏功した 1 例」

国際学会

(2021 年 11 月～2022 年 10 月)

(* : 過年度未掲載分)

2018 International Joint Conference on Genetics and Medicine (IJCGM 2018) (Seoul, Korea)

Nov 29-30, 2018*

Takahiro Yamada : The extracted problems to manage the demands of prenatal genetic testing in the primary maternity clinics

The 7th Biennial Meeting of Asian Society of Gynecologic Oncology

(Bangkok, Thailand, WEB)

Nov 25-27, 2021

Hiroyuki Kurosu : Efficacy analysis of niraparib using patient-derived xenografts of rare subtypes of ovarian cancer

Hiroyuki Yamazaki : A validation study of a modified TCGA classification for patients with endometrial cancer treated with radical surgery and adjuvant chemotherapy

Yasunari Ishizuka : Establishment of a novel cell line from glassy cell carcinoma of the cervix and analysis of Genomic landscape

Hot topics in Neonatology 2021

(National Harbor, MD, USA)

Dec 5-8, 2021

Akiko Ando : Sleep maturation influences cognitive development of preterm toddlers

27th Asia & Oceania Federation of Obstetrics and Gynaecology

(Bali, Indonesia)

May 23- 26, 2022

Noriaki Sakuragi : (Chien-Tien Hsu Memorial Lecture) Current Status and Future Prospects of Radical Hysterectomy

12th Asia Pacific Conference of Gynecological Surgery (APCGS 2022) (Bali, Indonesia)

Oct 8-9, 2022

Noriaki Sakuragi : (Symposium) Anatomic Dissection in Nerve-Sparing Radical Hysterectomy for Cervical Cancer

Noriaki Sakuragi : (Symposium) Bladder Function after Radical Hysterectomy

研修会など

(2021 年 11 月～2022 年 10 月)

(※：過年度未掲載分)

第 216 回熊本周産期懇話会 2018 年 5 月 30 日 (熊本) ＊
山田崇弘 (特別講演)「骨系統疾患の診断と遺伝カウンセリング～出生前から出生後まで～」

第 10 回遺伝医学セミナー入門コース 2019 年 2 月 10-11 日 (東京) ＊
山田崇弘 (教育講演)「遺伝医療と医療倫理」

加古川中央市民病院講演会 2019 年 4 月 15 日 (加古川) ＊
山田崇弘 (特別講演)「臨床遺伝学と遺伝カウンセリング～遺伝情報を適切に取り扱うために」

母体保護法指定医師研修会 2019 年 5 月 19 日 (静岡) ＊
山田崇弘 (特別講演)「生命倫理～出生前遺伝学的検査と遺伝情報の取り扱いについて」

京都大学遺伝カウンセラー養成コース遺伝カウンセリングカンファレンス
2019 年 6 月 7 日 (京都) ＊
山田崇弘 (特別講演)「出生前診断のニーズに応え、適切な遺伝医療を普及させるための取り組み」

高知こころの会 公益信託 高知新聞高知放送「生命 (いのち) の基金」助成事業「いのちについて考える」講演会 2019 年 8 月 31 日 (高知) ＊
山田崇弘 (特別講演)「出生前診断の進歩 あかちゃんのこととはどこまで分かる?～ゲノム情報を手にした時、私たちはいのちの多様性とどう向き合うのか～」

三菱京都病院講演会 2019 年 9 月 14 日 (京都) ＊
山田崇弘 (特別講演)「がんと遺伝の関係～HBOC を理解するために～」

2018 年度遺伝カウンセリングロールプレイ (GCRP) 研修会 2019 年 9 月 18 日 (金沢) ＊
山田崇弘 (教育講演)「遺伝学的検査によるコンパニオン診断」

獨協医科大学臨床遺伝子診療室講演会 2019 年 11 月 15 日 (栃木) ＊
山田崇弘 (特別講演)「ゲノム医療の時代における遺伝情報の取り扱い」

第 13 回遺伝カウンセリングアドバンスセミナー 2020 年 7 月 23 日-8 月 22 日 (WEB) ＊
山田崇弘 (教育講演)「がん遺伝子パネル検査における開示対象の Germline 所見とその取り扱いの実際」

第 12 回遺伝医学セミナー入門コース 2021 年 1 月 18-31 日 (WEB) ＊
山田崇弘 (教育講演)「遺伝医療と医療倫理」

Kyoto Urology Seminar 2 月 5 日 (WEB) ＊

山田崇弘 (特別講演)「コンパニオン診断からの HBOC と遺伝カウンセリング」

第 2 回不育症学会認定講習会 2 月 19 日-3 月 5 日 (WEB) *
山田崇弘 (教育講演)「遺伝医療と医療倫理」

第 17 回鳥取大学 IRUD 勉強会 2 月 26 日 (WEB) *
山田崇弘 (特別講演)「網羅的な出生前遺伝学的検査～そのとき我々はどう考えるのか～」

遺伝性腫瘍セミナー (北野病院／中外製薬共催) 3 月 1 日 (WEB) *
山田崇弘 (特別講演)「がんゲノム医療二次的所見への対応の実際」

2021 年度三重県言語聴覚士会総会 6 月 27 日 (WEB) *
山田崇弘 (特別講演)「ゲノム医療の時代における出生前遺伝学的検査」

前橋市医師会卒後研修会 8 月 30 日 (WEB) *
山田崇弘 (特別講演)「ゲノム医療における遺伝情報」

第 31 回遺伝医学セミナー 9 月 10-30 日 (WEB) *
山田崇弘 (教育講演)「遺伝医学における倫理」

北海道看護協会 札幌 4 支部助産師職能研修会 10 月 2 日 (札幌, WEB) *
蝦名康彦 「母体の感染 ～リスクと対応」

北海道大学病院周産母子センター新生児蘇生法講習会 11 月 8 日 (札幌)
古瀬優太 「新生児蘇生法 (一般コース)」

札幌市小児科医会研究会 11 月 17 日 (札幌)
平山恵美 「性的虐待被害児の診療」

第 275 回広島県東部産科婦人科医会学術講演会 11 月 19 日 (福山)
渡利英道 「卵巣癌に対する治療戦略-新たな治療選択を迎えて-」

北海道大学病院周産母子センター新生児蘇生法講習会 11 月 20 日 (札幌)
長 和俊 「新生児蘇生法 (一般コース)」

第 2 回女性アスリート健康サポート北海道 web セミナー 11 月 23 日 (WEB)
小林範子 「健康な骨づくりのために知っておきたい骨のハナシ」

令和 3 年度災害時小児周産期リエゾン育成研修(北海道東北ブロック) 11 月 25 日 (WEB)
長 和俊, 古瀬優太: グループワークファシリテーター

2021 年度第 1 回リンパ浮腫研修 E-LEARN 11 月 27 日-12 月 4 日 (オンデマンド)
小林範子 「婦人科がん」

青森市民病院 11 月 29 日 (WEB)
古瀬優太 「医療機関向け虐待対応プログラム (Stage I)」

- 性暴力被害者支援にかかわる看護職養成講座 12月4日（札幌）
平山恵美 「性暴力被害者の医療支援」
- 令和3年度兵庫県立こども病院周産期医療センター研修会 12月11日（神戸）＊
山田崇弘 （特別講演）「これからの出生前遺伝学的検査の提供体制」
- 第171回山梨周産期医療懇話会 12月23日（甲府）
長 和俊 （特別講演）「新生児呼吸管理のコツ」
- ゼジューラ発売1周年記念講演会 2022年1月16日（東京）
渡利英道 「再発時薬物療法の新展開」
- 青森労災病院 1月20日（WEB）
古瀬優太 「医療機関向け虐待対応プログラム（Stage I）」
- エフメノ®カプセル100mg 新発売記念講演会 in 北海道・東北 1月22日（WEB）
小林範子 「女性のトータルヘルスケアにおけるHRTの役割」
- Endometrial Cancer National Symposium 1月29日（WEB）
渡利英道 「子宮体癌治療における今後の展望」
- 第11回愛知産婦人科研究会 2月5日（名古屋, WEB）
渡利英道 「卵巣癌治療における維持療法と子宮体癌の診断・治療に関する最近の話題」
- 第10回東京低侵襲婦人科手術学会 2月5日（東京）
和田真一郎 （教育講演）「スマートにLMをこなすための戦略」
- 第12回千歳臨床医学研究会 2月5日（千歳）
津村宣彦 「当科における緊急帝王切開の検討」
- 札幌市西区がん診療セミナー 2月10日（札幌, WEB）
藤堂幸治 「子宮体癌における低侵襲手術～SLNナビゲーションの前向き臨床研究～」
- 北海道の卵巣癌治療におけるNiraparibの位置づけを考えるーゼジューラ発売1周年記念WEBセミナーー 2月14日（札幌, WEB）
加藤達矢 「HRD陽性例における初発維持療法の治療選択」
藤堂幸治 「PARP阻害剤の服薬継続率を上げるために」
渡利英道 （Closing Remarks）「北海道の卵巣癌治療におけるNiraparibの位置づけ」
- JOBST『オペーク』症例報告 Web座談会 2月18日（WEB）
小林範子 「リンパ浮腫治療における最新情報」
- 函館中央病院 新生児蘇生法講習会 2月20日（函館）
長 和俊 「新生児蘇生法（フォローアップコース）」
- 卵巣がん最新治療講座 2月22日（奈良, WEB）
渡利英道 「今、改めてアパスチンについて考える」

婦人科肉腫セミナー in 北海道 3月3日 (WEB)
加藤秀則 「子宮肉腫の治療を考える」
山田竜太郎 「当院における子宮肉腫の検討とエリブリンの使用状況について」

第三回第北海道産婦人科臨床フォーラム 3月4-10日 (WEB)
馬詰 武 「母体の心エコー」

リンパ浮腫講演会 -地域におけるリンパ浮腫・廃用性浮腫ケア 知っておきたいポイント- 3月5日 (WEB)
小林範子 「リンパ浮腫簡易指導マニュアルの解説」

あすか製薬 WEB 講演会 3月7日 (札幌, WEB)
和田真一郎 「子宮筋腫・子宮内膜症困難症例の腹腔鏡手術」

ゼジューラ全国 WEB 講演会 3月8日 (札幌, WEB)
渡利英道 「再発時薬物療法の新展開」

Ovarian Cancer Seminar in Gifu 3月10日 (WEB)
藤堂幸治 「進行卵巣癌治療 up to date～初回治療から再発治療まで～」

Endometrial Cancer Symposium 2022 3月17日 (札幌, WEB)
藤堂幸治 「進行・再発の子宮体癌治療における新たな治療選択肢～KEYNOTE-775 試験を中心に～」

これからはじめる第10回漢方スタートセミナー 4月26日 (WEB)
小林範子 「女性と漢方」

旭川医科大学 新生児蘇生法講習会 5月14日 (旭川)
長 和俊, 古瀬優太 「新生児蘇生法フォローアップコース」
長 和俊, 古瀬優太 「新生児蘇生法インストラクター養成コース」

ゼジューラ全国 WEB 講演会 5月16日 (札幌, WEB)
渡利英道 「卵巣癌に対する治療戦略-新たな治療選択を迎えて-」

札幌 BLSO プロバイダーコース 5月21-22日 (北大)
齊藤良玄: コースディレクター

「Cure を目指して」-卵巣がんの初回治療- 5月23日 (札幌, WEB)
藤堂幸治 (特別講演) 「卵巣癌初回治療～薬物療法を中心に～」

令和4年度 ACTmed 社員勉強会 5月26日 (京都)
山田崇弘 (教育講演) 「京都大学病院における遺伝診療体制」

天使病院 6月11日 (WEB)
古瀬優太 「医療機関向け虐待対応プログラム (Stage I)」

第8回札幌西・石狩・小樽地区産婦人科談話会 6月15日(札幌)
和田真一郎 「手稲溪仁会病院の活動報告」

Endometrial Cancer Seminar in Nagasaki 6月17日(長崎,ハイブリッド)
渡利英道 「子宮体癌の診断・治療の現状と今後の課題～KEYNOTE-775試験を含めて～」

日本新生児成育医学会第8回学生・研修医向けNICU入門セミナー 6月18日(WEB)
長 和俊 「災害 ～胆振東部地震,ブラックアウトの経験」
古瀬優太: ワークショップ チューター

北海道大学病院小児成人移行期医療センターカンファレンス 6月22日(札幌)
小林範子 「無月経女性に対する女性ホルモン補充療法の長期的影響」

道東地区産婦人科医会 6月24日(釧路)
渡利英道 (特別講演)「子宮内膜症と再発卵巣がん治療の最新トピックス」

Gynecological Young Oncologist Meeting 6月30日(札幌,WEB)
秋江惟能 「輸血拒否症例に対する治療選択」
櫻井愛美 「PARP阻害剤投与により急激な汎血球減少を来した症例」
鈴木裕太郎 「プラチナ感受性再発卵巣がんの維持療法におけるPARP阻害薬のrechallengeの使用経験・子宮頸がんに対する腹腔鏡下広汎子宮全摘出術における術野展開の工夫」
三田村 卓 「遺伝性腫瘍と日常診療」

卵巣癌治療新時代 -what can we do?- in Hokkaido 7月4日(札幌,WEB)
山田竜太郎 「プラチナ感受性再発卵巣癌を考える」

Academic seminar of foreign experts, Institute of Basic Medical Sciences, Chinese Academy of Medical Sciences, School of Basic Medicine, Peking Union Medical College. 7月5日(WEB)
山田崇弘 (特別講演)「Nation-wide Registry System for Skeletal Dysplasia in Japan」

北海道婦人科低侵襲手術Webina 7月12日(札幌)
和田真一郎 「巨大子宮のTLH-視野展開・体外搬出の工夫-」

北海道大学病院周産母子センター新生児蘇生法講習会 7月17日(札幌)
長 和俊, 中村雄一「新生児蘇生法(専門コース)」

北海道大学病院周産母子センター新生児蘇生法講習会 7月19日(札幌)
長 和俊, 中村雄一, 瀬戸康貴「新生児蘇生法(スキルアップコース)」

2022年度第1回 妊婦・授乳婦専門薬剤師セミナー 7月26日(札幌)
石塚泰也 「不妊症・子宮内膜症と薬物療法」

北海道大学病院周産母子センター新生児蘇生法講習会 7月30日(札幌)
長 和俊, 古瀬優太「新生児蘇生法(フォォーアップコース)」

Ovarian Cancer webinar in Hokkaido 8月2日(札幌, WEB)
中陳哲也 「ニラパリブの実臨床とエビデンス」
松宮寛子 「エビデンスと使用経験から考える実臨床における Niraparib の位置づけ」
山口正博 「当院におけるニラパリブの治療経験」

天使病院新生児蘇生法講習会 8月21日(札幌)
長 和俊 「新生児蘇生法(専門コース)」

武田薬品 社外講師勉強会 8月23日(札幌, WEB)
渡利英道 「最新の卵巣がん初回治療について」

Endometrial Cancer Web Seminar 8月26日(大阪, WEB)
渡利英道 「子宮体癌の診断・治療の現状と今後の課題～KEYNOTE-775 試験を含めて～」

JCHO 北海道病院初期研修医向けレクチャー 8月29日(札幌)
古瀬優太 「児童虐待防止について」

卵巣癌治療 Up date 8月30日(札幌)
渡利英道 (特別講演)「卵巣癌治療における最近の話題」

Bring a paradigm shift to ovarian cancer therapy 9月2日(東京, ハイブリッド)
渡利英道 「卵巣癌に対する治療戦略-新たな治療選択を迎えて-」

北産婦医学会学術研修会 9月4日(札幌)
片岡宙門 「帝王切開Q&A私はこうしている～帝王切開癒痕症候群予防への取り組み～」

Bring a paradigm shift to ovarian cancer therapy 9月6日(WEB)
山田竜太郎 「当院における卵巣癌初回治療の現状～維持療法を選択に悩んだ症例～」

日本女性医学学会主催 2022 年度女性のヘルスケア研修会
9月6日-11月21日(オンデマンド)
小林範子 「原発性無月経 思春期の月経異常とその治療」

北海道大学病院新生児蘇生法講習会インストラクター養成コース 9月18日(札幌)
長 和俊, 古瀬優太 「新生児蘇生法」

第6回江別市医師会研修会 9月20日(江別)
渡利英道 「子宮頸がん HPV ワクチン ～地域ブロック拠点病院としての展望～」

子宮体癌の薬物療法セミナー 9月22日(宇部)
渡利英道 「子宮体癌の診断・治療の現状と今後の課題」

Bring a paradigm shift to ovarian cancer therapy 9月26日(東京, ハイブリッド)
渡利英道 「卵巣癌に対する治療戦略-新たな治療選択を迎えて-」

2022 年度リンパ浮腫研修 E-LEARN 9月30日-10月13日(オンデマンド)
小林範子 「婦人科がん」

手稲溪仁会病院新生児蘇生法講習会 10月22日（札幌）
長 和俊 「新生児蘇生法（専門コース）」

室蘭日鋼記念病院 10月22日（WEB）
古瀬優太 「医療機関向け虐待対応プログラム（Stage I）」

HPVワクチンの積極的勧奨の再開に関する行政機関向け説明会 10月27日（札幌, WEB）
山崎博之 「HPVワクチンの意義について」

業績一覧

2021 年 11 月～2022 年 10 月

過年度未掲載分を含む

	英 文	和 文	計
編 集	0	0	0 (2)
著 書	1	15	16 (11)
総 説	6	23	29 (13)
原 著	69	21	90 (51)
症 例	5	12	17 (12)
その他	1	8	9 (4)
計	83 (54)	79 (39)	161 (93)

() は昨年度

論文業績は以下に示すカテゴリーに大別する。筆者著者の50音順，アルファベット順に記載してある。

- 著書：教科書，単行本
 - 単著：単名で執筆した著書
 - 共著：共同で著書あるいは著書の一部の章を執筆したもの。
- 総説：あるテーマについて既報の論文をレビューするなどして解説したもの。
- 原著：自分自身のオリジナルな研究に基づいて新しい事実あるいは結論を報告したもの。最も重要な論文である。速報性が重視される研究結果を報告するRapid Communicationもここに含める。
- 症例報告：極めて稀な疾患あるいはこれまで報告されていない診断・治療の結果について報告するもの。1例報告や数例をまとめたcase seriesがある。

編 集

2021 年 11 月～2022 年 10 月

なし

著 書

2021 年 11 月～2022 年 10 月

(＊：過年度未掲載分)

単著

なし

共著

英文

1. Yamada T. Chapter 25. Polymerase Chain Reaction (PCR). Fetal Morph Functional Diagnosis (Comprehensive Gynecology and Obstetrics). (editor Masuzaki H. Springer, Singapore) 2020, pp331-4*

和文

1. 山田崇弘 (2018) : II Advanced 篇 第 11 講義 出生前診断. コアカリ準拠 臨床遺伝学テキストノート, 日本人類遺伝学会 編, 診断と治療社, 東京, pp138-46*

2. 川崎秀徳, 山田崇弘 (2019) : 2. 周産期編 1) 出生前遺伝学的検査で認められる染色体異常. 遺伝子医学 MOOK 別冊 最新小児・周産期遺伝医学研究と遺伝カウンセリング, 中村公俊, 佐村 修 編, (株) メディカルドゥ, 大阪, pp114-9*

3. 山田崇弘, 佐村 修 (2021) : 8. 性染色体数的異常. 周産期遺伝カウンセリングマニュアル 改訂 3 版, 関沢明彦, 佐村 修, 四元淳子 編著, 中外医学社, 東京, pp101-8*

4. 山田崇弘 (2021) : Q9 遺伝性疾患をもっています. 妊娠・出産に影響がありますか? 臨床婦人科産科 2021 増刊号, 大道正英, 亀井良政, 久慈直昭 編, 医学書院, 東京, pp121-2*

5. 山田崇弘 (2021) : 4. 遺伝学的手法 A 出生前遺伝学的検査. 臨床遺伝専門医テキスト 2, 臨床遺伝専門医制度委員会監修, 診断と治療社, 東京, pp146-53*

6. 小林範子 (2021) : II. 婦人科疾患 I. セクシャル・ヘルス 1. 避妊法. 産科婦人科疾患最新の治療 2022-2024, 吉川史隆・大須賀穰・杉山 隆編, 南江堂, 東京, pp279-81*

7.

8. 小林範子 (2021) : II. 婦人科疾患 I. セクシャル・ヘルス 2. 性の相談: セックスカウンセリング・セラピー, 性機能不全, 性別違和. 産科婦人科疾患最新の治療 2022-2024, 吉川史隆・大須賀穰・杉山 隆編, 南江堂, 東京, pp282-3*

9. 津村宣彦, 菅原美佳, 大石真由, 城野 茜, 互野良恵, 重永直善, 古木啓介 (2021): 当院における過去 10 年間の母体搬送・産科救急搬送の検討. 市立千歳市民病院医誌 65(1), 千歳, pp38-42

10. 鶴田智彦, 藤堂幸治, 黒須博之, 山田竜太郎, 蓑輪 郁, 見延進一郎, 加藤秀則 (2021): 当院における婦人科がん患者に対する緩和医療の実態 腫瘍原発部位ごとの特徴ならびに best supportive care(BSC)提案からの経過を中心に. 日本婦人科腫瘍学会雑誌 39(4), (公社) 日本婦人科腫瘍学会, 東京, pp812-20

11. 馬詰 武 (2022): 診療体制 11. 北海道の取り組み. 産科と婦人科 89(3), 診断と治療社, 東京, pp275-9

12. 奥山和彦, 加藤秀則, 井上亮一, 寺澤勝彦, 寺本瑞絵, 幡 洋, 山田 俊, 涌井之雄, 香城恒磨, 安田晶子, 西川 聡 (2022): 産婦人科 保険診療留意事項 令和 4 年版, 北海道産婦人科医会 医療保険部, 札幌, pp8-11

13. 金野陽輔, 渡利英道 (2022): 子宮体がんの手術療法の最近の話題 1) リンパ節郭清について. 産婦人科の実際 71(11), 金原出版, 東京, pp1343-7

14. 長 和俊 (2022): 各論 先天性肺胞蛋白症／遺伝性肺胞蛋白症 (CPAP/HPAP) および肺サーファクタント関連遺伝子変異由来での病態, 診断, 治療, 合併症, 予後. 肺胞蛋白症診療ガイドライン 2022, 日本呼吸器学会肺胞蛋白症診療ガイドライン 2022 作成委員会 編, メディカルレビュー社, 大阪, pp133-6

15. 渡利英道 (2022): 子宮頸癌. 今日の治療指針 2022 年版, 福井次矢, 高木 誠, 小室一成 編, 医学書院, 東京, pp1368

総 説

2021 年 11 月～2022 年 10 月

(＊：過年度未掲載分)

英文

1. Ghafouri-Fard S, Fathi M, Zhai T, Taheri M, Dong P. LncRNAs: Novel Biomarkers for Pancreatic Cancer. *Biomolecules*. 2021 Nov 10;11(11):1665

2. Asano H, Isoe T, Ito YM, Nishimoto N, Watanabe Y, Yokoshiki S, Watari H. Status of the Current Treatment Options and Potential Future Targets in Uterine Leiomyosarcoma: A Review. *Cancers (Basel)*. 2022 Feb 24;14(5):1180

3. Asano H, Oda K, Yoshihara K, Ito YM, Matsumura N, Shimada M, Watari H, Enomoto T. Phase II study of niraparib in recurrent or persistent rare fraction of gynecologic malignancies with homologous recombination deficiency (JGOG2052). *J Gynecol Oncol*. 2022 Jul;33(4):e55

4. Cai A, Hu Y, Zhou Z, Qi Q, Wu Y, Dong P, Chen L, Wang F. PIWI-Interacting RNAs (piRNAs): Promising Applications as Emerging Biomarkers for Digestive System Cancer. *Front Mol Biosci*. 2022;9:848105

5. Ghafouri-Fard S, Khoshbakht T, Hussien BM, Dong P, Gassler N, Taheri M, Baniahmad A, Dilmaghani NA. A review on the role of cyclin dependent kinases in cancers. *Cancer Cell Int*. 2022;22(1):325

6. Luo Y, Ebina Y, Kagamiyama H, Sato Y. Interventions to improve immigrant women's mental health: A systematic review. *J Clin Nurs*. 2022 Jun 2. Online ahead of print.

和文

7. 中川絹子, 山田崇弘 (2017): 妊娠中期・後期の性器出血. *周産期医学* 47:9-17*

8. 小杉真司, 金井雅史, 川目 裕, 後藤雄一, 櫻井晃洋, 武藤 学, 宮本恵宏, 三宅秀彦, 孫 徹, 和田敬仁, 山田崇弘, 平沢 晃, 松本繁巳, 高 忠之, 西垣昌和, 佐藤智佳, 赤羽智子, 清水玲子, 宮崎幸子, 本田明夏, 稲葉 慧, 松川愛未, AMED「医療現場でのゲノム情報の適切な開示のための体制整備に関する研究」班 (2018): ゲノム医療における情報伝達プロセスに関する提言 がん遺伝子パネル検査と生殖細胞系列全ゲノム 全エクソーム解析について【初版】. *臨床病理レビュー* 160:23-34*

9. 近藤知大, 山田崇弘 (2019): がんクリニカルシーケンスにおける遺伝カウンセリング. *産婦人科の実践* 68:207-13*

10. 山田崇弘 (2019): NIPT の対象として母体年齢による制限は必要か? *臨床婦人科産科* 73:237-42*

11. 柴田有花, 山田崇弘 (2019) : 母体年齢の高年化が先天異常の発症頻度に及ぼす影響. 遺伝子医学 9(2) : 18-23 *
 12. 山田崇弘 (2019) : 生殖医療と周産期医療の最前線. 北海道医報 1209 : 18-20 *
 13. 山田崇弘 (2019) : Lecture 臨床遺伝学・人類遺伝学誌上講義 メンデル遺伝. 遺伝子医学 9(3) : 119-23 *
 14. 山田崇弘 (2019) : FOCUS 母体血を用いた胎児の遺伝子診断. 臨床婦人科産科 73 : 494-7 *
 15. 加藤ももこ, 柴田有花, 山田崇弘 (2020) : 妊娠初期における出生前染色体検査時の対応. ペリネイタルケア 39 : 32-5 *
 16. 川崎秀徳, 山田崇弘 (2020) : III. 疾患に対する薬剤の選び方・使い方・注意点＜合併症妊娠＞感染症. 周産期医学 増刊号 50 : 112-5 *
-

17. 片岡空門 (2021) : 【帝王切開-明日からできる工夫と留意点-】総論-工夫と留意点 2. 子宮切開創の縫合 癒合不全と帝王切開癒痕症候群の予防を目指して(解説). 産科と婦人科 88(10) : 1166-70 *
 18. 洪本加奈, 西山深雪, 山田崇弘 (2021) : 出生前検査におけるマイクロアレイ (Chromosomal Micro Array : CMA) の活用. 確定的な遺伝子解析法とその活用. 周産期医学 51 : 723-6 *
 19. 洪本加奈, 森貞直哉, 山田崇弘 (2021) : 新生児マススクリーニングと遺伝カウンセリング. 遺伝子医学 11 : 88-92 *
 20. 長 和俊 (2021) : 呼吸窮迫症候群. 周産期医学 51(増刊) : 589-91
 21. 長 和俊 (2021) : 気胸, エアリーク. 小児内科 53(増刊) : 104-6
-

22. 江川真希子, 山田崇弘 (2022) : 胎児形態異常における網羅的遺伝子解析法の活用. 周産期医学 52 : 645-9
23. 小林範子 (2022) : 陰部浮腫の病態と評価. 月刊ナーシング 42(8) : 81-9
24. 小林範子 (2022) : 内臓脂肪型肥満に対する女性ホルモンの影響. 臨床婦人科産科 76(10) : 950-7
25. 佐藤智佳, 島田 咲, 山田崇弘 (2022) : 確定的な出生前遺伝学的検査の具体的な解析方法と結果の解釈. 臨床婦人科産科 76 : 69-75
26. 長 和俊 (2022) : 新生児の分娩損傷. 産科と婦人科 89(増刊) : 59-62

27. 長 和俊 (2022) : 胎児肺の成長・発達と出生後の呼吸の適応生理. with Neo 2022 秋季増刊 : 10-5
28. 古瀬優太 (2022) : 新生児の適応生理「呼吸」. with NEO 35(5) : 674-85
29. 古瀬優太 (2022) : 子ども虐待対応のための基礎知識と医療の役割. 日本小児科学会雑誌 126(5) : 769-82

原著論文

2021 年 11 月～2022 年 10 月

(* : 過年度未掲載分)

英文

1. Shibata Y, Matsushima M, Yabe I, Matsuda K, Nagai A, Kano T, Yamada T, Sekijima Y, Sasaki H. Pseudo-homozygous mutation due to a primer site polymorphism in hereditary ATTR amyloidosis: a pitfall of PCR-based genetic testing. *Amyloid*. 2017;24:66-7*
2. Kikuri T, Mishima H, Imura H, Suzuki S, Matsuzawa Y, Nakamura T, Fukumoto S, Yoshimura Y, Watanabe S, Kinoshita A, Yamada T, Shindoh M, Sugita Y, Maeda H, Yawaka Y, Mikoya T, Natsume N, Yoshiura K. Patients with SATB2-associated syndrome exhibiting multiple odontomas. *American Journal of Medical Genetics Part A Am J Med Genet A*. 2018;176:2614-22*
3. Miyashita N, Onozawa M, Hayasaka K, Yamada T, Migita O, Hata K, Okada K, Goto H, Nakagawa M, Hashimoto D, Kahata K, Kondo T, Kunishima S, Teshima T. A novel heterozygous ITGB3 p.T720del inducing spontaneous activation of integrin α IIb β 3 in autosomal dominant macrothrombocytopenia with aggregation dysfunction. *Annals of Hematology*. 2018;97:629-40*
4. Shibata Y, Yabe I, Matsushima M, Hashimoto M, Yamada T, Sasaki H. Investigating the role of genetic counseling in neuromuscular disease considering life events. *J Hum Genet*. 2019;64:551-9*
5. Suzumori N, Sekizawa A, Takeda E, Samura O, Sasaki A, Akaishi R, Wada S, Hamanoue H, Hirahara F, Izumi H, Sawai H, Nakamura H, Yamada T, Miura K, Masuzaki H, Yamashita T, Kamei Y, Nanba A, Murotsuki J, Tanemoto T, Fukushima A, Haino K, Tairaku S, Matsubara K, Maeda K, Kaji T, Ogawa M, Osada H, Nishizawa H, Okamoto Y, Kanagawa T, Kakigano A, Endo M, Kitagawa M, Ogawa M, Izumi S, Katagiri Y, Takeshita N, Kasai Y, Naruse K, Neki R, Masuyama H, Hyodo M, Kawano Y, Ohba T, Ichizuka K, Nagamatsu T, Watanabe A, Nishikawa N, Hamajima N, Shirato N, Yotsumoto J, Nishiyama M, Hirose T, Sago H. Classification of factors involved in nonreportable results of noninvasive prenatal testing (NIPT) and prediction of success rate of second NIPT. *Prenat Diagn*. 2019;39:100-6*
6. Taguchi I, Yamada T, Akaishi R, Imoto I, Kurosawa K, Nakatani K, Nomura F, Hamanoue H, Hyodo M, Murakami H, Yoshihashi H, Yotsumoto J, Kosugi S. Attitudes of clinical geneticists and certified genetic counselors to genome editing and its clinical applications: A nation-wide questionnaire survey in Japan. *J Hum Genet*. 2019;64:945-54*
7. Yamaguchi Y, Tayama C, Tomikawa J, Akaishi R, Kamura H, Matsuoka K, Wake N, Minakami H, Kato K, Yamada T, Nakabayashi K, Hata K. Placenta-specific epimutation at H19-DMR among common pregnancy complications: its frequency and effect on the

expression patterns of H19 and IGF2. *Clinical Epigenetics*. 2019;11:113*

8. Hayashi H, Tanishima S, Fujii K, Mori R, Okada C, Yanagita E, Shibata Y, Matsuoka R, Amano T, Yamada T, Yabe I, Kinoshita I, Komatsu Y, Akita H, Nishihara H. Clinical impact of a cancer genomic profiling test using an in-house comprehensive targeted sequencing system. *Cancer Sci*. 2020;111(10):3926–37*

9. Kawasaki H, Yamada T, Takahashi Y, Nakayama T, Wada T, Kosugi S. Epidemiology of birth defects in very low birth weight infants in Japan. *J Pediatr*. 2020;226:106–11.e10*

10. Kawasaki H, Yamada T, Takahashi Y, Nakayama T, Wada T, Kosugi S, The Neonatal Research Network of Japan. The short-term mortality and morbidity of very low birth weight infants with trisomy 18 or trisomy 13 in Japan. *J Hum Genet*. 2020;66:273–85*

11. Kawasaki H, Yamada T, Wada T, Kosugi S. Current status and legal/ethical problems in the research use of the tissues of aborted human fetuses in Japan. *Congenit Anom (Kyoto)*. 2020;60:166–74*

12. Nagata M, Setoh K, Takahashi M, Higasa K, Kawaguchi T, Kawasaki H, Wada T, Watanabe A, Sawai H, Tabara Y, Yamada T, Matsuda F, Kosugi S. Association of ALPL variants with serum alkaline phosphatase and bone traits in the general Japanese population: The Nagahama Study. *J Hum Genet*. 2020;65:337–43*

13. Sato T, Kojima T, Samura O, Kawaguchi S, Nakamura A, Nakajima M, Tanuma-Takahashi A, Nakabayashi K, Hata K, Ikegawa S, Nishimura G, Okamoto A, Yamada T. Two Unrelated Pedigrees with Achondrogenesis Type 1b Carrying a Japan-specific Pathogenic Variant in SLC26A2. *Am J Med Genet A*. 2020;182:735–9*

14. Suzumori N, Sekizawa A, Takeda E, Samura O, Sasaki A, Akaishi R, Wada S, Hamanoue H, Hirahara F, Sawai H, Nakamura H, Yamada T, Miura K, Masuzaki H, Nakayama S, Kamei Y, Namba A, Murotsuki J, Yamaguchi M, Tairaku S, Maeda K, Kaji T, Okamoto Y, Endo M, Ogawa M, Kasai Y, Ichizuka K, Yamada N, Ida A, Miharun N, Kawaguchi S, Hasuo Y, Okazaki T, Ichikawa M, Izumi S, Kuno N, Yotsumoto J, Nishiyama M, Shirato N, Hirose T, Sago H. Retrospective details of false-positive and false-negative results in noninvasive prenatal testing for fetal trisomy 21, 18 and 13. *Eur J Obstet Gynecol Reprod Biol*. 2020 Oct 27;256:75–81*

15. Tsuchiya M, Yamada T, Akaishi R, Hamanoue H, Hirasawa A, Hyodo M, Imoto I, Kosho T, Kurosawa K, Murakami H, Nakatani K, Nomura F, Sasaki A, Shimizu K, Tamai M, Umemura H, Watanabe A, Yoshida A, Yoshihashi H, Yotsumoto J, Kosugi S. Attitudes toward and current status of disclosure of secondary findings from next-generation sequencing: A nation-wide survey of clinical genetics professionals in Japan. *J Hum Genet*. 2020;65:1045–53*

16. Yamamoto Y, Kanai M, Kou T, Sugiyama A, Nakamura E, Miyake H, Yamada T, Nishigaki M, Kondo T, Murakami H, Torishima M, Matsumoto S, Kosugi S, Muto M. Clinical

significance of TP53 variants as possible secondary findings in tumor-only next-generation sequencing. *J Hum Genet.* 2020;65:125–32*

17. Yotsumoto J, Sekizawa A, Inoue S, Suzumori N, Samura O, Yamada T, Miura K, Masuzaki H, Sawai H, Murotsuki J, Hamanoue H, Kamei Y, Endo T, Fukushima A, Katagiri Y, Takeshita N, Ogawa M, Nishizawa H, Okamoto Y, Tairaku S, Kaji T, Maeda K, Matsubara K, Ogawa M, Osada H, Ohba T, Kawano Y, Sasaki A, Sago H. Qualitative investigation of the factors that generate ambivalent feelings in women who give birth after receiving negative results from non-invasive prenatal testing. *BMC Pregnancy and Childbirth.* 2020;20:112*

18. Kondo T, Matsubara J, Pham Nguyen, Quy PN, Fukuyama K, Nomura M, Funakoshi T, Doi K, Sakamori Y, Yoshioka M, Yokoyama A, Tamaoki M, Kou T, Hirohashi K, Yamada A, Yamamoto Y, Minamiguchi S, Nishigaki M, Yamada T, Kanai M, Matsumoto S, Muto M. Comprehensive genomic profiling for patients with chemotherapy-naïve advanced cancer. *Cancer Sci.* 2021;112(1):296–304*

19. Sasaki Y, Yamada T, Tanaka S, Sekizawa A, Hirose T, Suzumori N, Kaji T, Kawaguchi S, Hasuo Y, Nishizawa H, Matsubara K, Hamanoue H, Fukushima A, Endo M, Yamaguchi M, Kamei Y, Sawai H, Miura K, Ogawa M, Tairaku S, Nakamura H, Sanui A, Mizuuchi M, Okamoto Y, Kitagawa M, Kawano Y, Masuyama H, Murotsuki J, Osada H, Kurashina R, Samura O, Ichikawa M, Sasaki R, Maeda K, Kasai Y, Yamazaki T, Neki R, Hamajima N, Katagiri Y, Izumi S, Nakayama S, Miharu N, Yokohama Y, Hirose M, Kawakami K, Ichizuka K, Sase M, Sugimoto K, Nagamatsu T, Shiga T, Tashima L, Taketani T, Matsumoto M, Hamada H, Watanabe T, Okazaki T, Iwamoto S, Katsura D, Ikenoue N, Kakinuma T, Hamada H, Egawa M, Kasamatsu A, Ida A, Kuno N, Kuji N, Ito M, Morisaki H, Tanigaki S, Hayakawa H, Miki A, Sasaki S, Saito M, Yamada N, Sasagawa T, Tanaka T, Hirahara F, Kosugi S, Sago H; Japan N. I. P. T. Consortium. Evaluation of the clinical performance of noninvasive prenatal testing at a Japanese laboratory. *J Obstet Gynaecol Res.* 2021 Oct;47(10):3437–46*

20. Senda N, Kawaguchi-Sakita N, Kawashima M, Inagaki-Kawata Y, Yoshida K, Takada M, Kataoka M, Torii M, Nishimura T, Kawaguchi K, Suzuki E, Kataoka Y, Matsumoto Y, Yoshibayashi H, Yamagami K, Tsuyuki S, Takahara S, Yamauchi A, Shinkura N, Kato H, Moriguchi Y, Okamura R, Kan N, Suwa H, Sakata S, Mashima S, Yotsumoto F, Tachibana T, Tanaka M, Togashi K, Haga H, Yamada T, Kosugi S, Inamoto T, Sugimoto M, Ogawa S, Toi M. Optimization of prediction methods for risk assessment of pathogenic germline variants in the Japanese population. *Cancer Sci.* 2021;112(8):3338–48*

21. Ohnishi S, Ariyoshi K, Oyamada S, Kihara K, Konno Y, Watari H. A protocol for efficacy of rikkunshito on chemotherapy-induced nausea and vomiting in patients with uterine corpus or cervical cancer treated with cisplatin-based regimen-placebo-controlled, double blind, randomized c study confirmatory study (efficacy of rikkunshito on chemotherapy-induced nausea and vomiting). *Med Case Rep Study Protoc.* 2021;2(6):e0109

22. Sakuragi N, Kaneuchi M. Nerve-Sparing Radical Hysterectomy Using the Okabayashi-Kobayashi Method. *Surg J (N Y)*. 2021 Dec 1;7(Suppl 2):S48-S56
 23. Shindo R, Aoki S, Misumi T, Nakanishi S, Umazume T, Nagamatsu T, Masuyama H, Itakura A, Ikeda T; Japan Society of Obstetrics and Gynecology Perinatal Committee. Spontaneous labor curve based on a retrospective multi-center study in Japan. *Obstet Gynaecol Res*. 2021 Dec;47(12):4263-9
 24. Takaoka M, Umazume T, Watari H. Importance to release of the number of pregnant women with COVID-19 to help build the perinatal medical care system in Japan. *J Obstet Gynaecol Res*. 2021 Nov;47(11):4127-8
 25. Yamada A, Matsuoka Y, Minamiguchi S, Yamamoto Y, Kondo T, Sunami T, Horimatsu T, Kawada K, Seno H, Torishima M, Murakami H, Yamada T, Kosugi S, Sugano K, Muto M. Real-world outcome of universal screening for Lynch syndrome in Japanese patients with colorectal cancer highlights the importance of targeting patients with young-onset disease. *Mol Clin Oncol*. 2021 Dec;15(6):247
 26. Yamazaki H, Wada T, Asano H, Fujita H, Okamoto K, Watari H. Comparison between Urine and Cervical High-Risk HPV Tests for Japanese Women with ASC-US. *Diagnostics (Basel)*. 2021 Oct 14;11(10):1895
-
27. Cheng K, Seita Y, Moriwaki T, Noshiro K, Sakata Y, Hwang S, Torigoe T, Saitou M, Tsuchiya H, Iwatani C, Hosaka M, Ohkouchi T, Watari H, Umazume T, Sasaki K. The developmental origin and the specification of the adrenal cortex in humans and cynomolgus monkeys. *Sci Adv*. 2022 Apr 22;8(16):eabn8485
 28. Chiba T, Kooka A, Kowatari K, Yoshizawa M, Chiba N, Takaguri A, Fukushi Y, Hongo F, Sato H, Wada S. Expression profiles of hsa-miR-148a-3p and hsa-miR-125b-5p in human breast milk and infant formulae. *International Breastfeeding Journal*, 2022;17:1-9
 29. Chiba T, Takaguri A, Kooka A, Kowatari K, Yoshizawa M, Fukushi Y, Hongo F, Sato H, Fujisawa M, Wada S, Maeda T. Suppression of milk-derived miR-148a caused by stress plays a role in the decrease in intestinal ZO-1 expression in infants. *Clin Nutr*. 2022 Dec;41(12):2691-8
 30. Dong P, Wang F, Tahwri M, Xiong Y, Ihira K, Kobayashi N, Konno Y, Yue J, Watari H. Long non-coding RNA TMP0-AS1 promotes GLUT1-mediated glycolysis and paclitaxel resistance in endometrial cancer cells by interacting with miR-140 and miR-143. *Front Oncol* 2022 May 27;12:912935
 31. Ebina Y, Takeuchi M, Nakamura M. Impact of the COVID-19 pandemic on the policies and practices of delivery facilities in Japan. *Clin Exp Obstet Gynecol*. 2022;49(1):6

32. Guo H, Zhang W, Wang J, Zhao G, Wang Y, Zhu BM, Dong P, Watari H, Wang B, Li W, Tigyi G, Yue J. Cryptotanshinone inhibits ovarian tumor growth and metastasis by degrading c-Myc and attenuating the FAK signaling pathway. *Front Cell Dev Biol.* 2022 Sep 28;10:959518
33. Haruyama Y, Miyagi E, Kobashi G, Obata S, Umazume T, Yoshimi A, Hishimoto A, Kurasawa K, Suzuki Y, Ikeda T, Kimura T, Yamada H. Impact of health literacy on anxiety and depressive symptoms in pregnant women in Japan during the COVID-19 pandemic. *Sci Rep.* 2022 Aug 18;12(1):14042
34. Hiromoto K, Yamada T, Tsuchiya M, Kawame H, Nanba E, Goto Y, Kosugi S. Challenges of secondary finding disclosure in genomic medicine in rare diseases: A nation-wide survey of Japanese facilities outsourcing comprehensive genetic testing. *J Hum Genet.* 2022 Oct 3. Online ahead of print.
35. Hoshino Y, Arai J, Cho K, Yukitake Y, Kajikawa D, Hinata A, Miura R. Diagnosis and management of neonatal respiratory distress syndrome in Japan: A national survey. *Pediatr Neonatol.* 2022 Aug 28;S1875-9572(22)00196-6. Online ahead of print.
36. Huo X, Zhang W, Zhao G, Chen Z, Dong P, Watari H, Narayanan R, Tillmanns TD, Pfeiffer LM, Yue J. FAK PROTAC Inhibits Ovarian Tumor Growth and Metastasis by Disrupting Kinase Dependent and Independent Pathways. *Front Oncol.* 2022;12:851065
37. Kato T, Shimada C, Kato F, Okada-Kanno H, Takeda M, Endo D, Ihira K, Mitamura T, Konno Y, Sakuragi N, Watari H. Patterns and predictors of site-specific recurrence in cervical cancer after radical hysterectomy. *J Obstet Gynaecol Res.* 2022 Sep 29. Online ahead of print.
38. Kawasaki H, Yamada T, Takahashi Y, Wada T, Nakayama T, Kosugi S. Mortality and morbidity of infants with trisomy 21, weighing 1,500 grams or less, in Japan. *J Hum Genet.* 2022 Nov;67(11):623-8
39. Kondo E, Yoshida K, Tabata T, Kobayashi Y, Yamagami W, Ebina Y, Kaneuchi M, Nagase S, Machida H, Mikami M. Comparison of treatment outcomes of surgery and radiotherapy, including concurrent chemoradiotherapy for stage Ib2-IIb cervical adenocarcinoma patients: a retrospective study. *J Gynecol Oncol.* 2022 Mar;33(2):e14
40. Kondo T, Yamamoto Y, Furuyama K, Kanai M, Yamada A, Matsubara J, Quy PN, Yoshioka M, Yamada T, Minamiguchi S, Matsumoto S, Kosugi S, Muto M. Germline sequencing for presumed germline pathogenic variants via tumor only comprehensive genomic profiling. *Int J Clin Oncol.* 2022 Aug;27(8):1256-63
41. Kukimoto I, Onuki M, Yamamoto K, Yahata H, Aoki Y, Yokota H, Konnai K, Nio A, Takehara K, Kamiura S, Tsuda N, Takei Y, Shimada M, Nakai H, Yoshida H, Motohara T, Yamazaki H, Nakamura K, Okunomiya A, Tasaka N, Ishikawa M, Hirashima Y, Shimoji Y, Mori M, Iwata T, Takahashi F, Yoshikawa H, Yaegashi N, Matsumoto K; MINT study group.

Regional differences in human papillomavirus type 52 prevalence among Japanese women with cervical intraepithelial neoplasia. *Jpn J Clin Oncol*. 2022 Oct 6;52(10):1242-7

42. Kurosu H, Todo Y, Yamada R, Minowa K, Tsuruta T, Minobe S, Nishiyama N, Kato H. Clinical relevance of addition of conventional treatment to concurrent chemoradiotherapy in patients with FIGO stage III-IV cervical cancer: a retrospective analysis of a Japanese cohort. *Jpn J Clin Oncol*. 2022 Mar 3;52(3):244-50

43. Luo Y, Sato Y, Zhai T, Kagamiyama H, Ebina Y. Promotion of Parenting and Mental Health Needs among Chinese Women Living in Japan: A Qualitative Study. *Int J Environ Res Public Health*. 2022 Oct 19;19(20):13538

44. Machida H, Matsuo K, Kobayashi Y, Momomura M, Takahashi F, Tabata T, Kondo E, Yamagami W, Ebina Y, Kaneuchi M, Nagase S, Mikami M. Significance of histology and nodal status on the survival of women with early-stage cervical cancer: validation of the 2018 FIGO cervical cancer staging system. *J Gynecol Oncol*. 2022 May;33(3):e26

45. Maeda Y, Hasegawa A, Miyake R, Dofutsu M, Higuchi Y, Osaku D, Suemitsu T, Onodera Y, Shozu M, Miura K, Yoshida Y, Komatsu H, Watari H. Association of online activities with obstetrics and gynecology specialty choice: a nationwide online survey. *Int J Med Educ*. 2022 Sep 28;13:261-6

46. Minamoto A, Yamada T, Shimada S, Kinoshita I, Aoki Y, Oda K, Ueki A, Higashigawa S, Morikawa M, Sato Y, Hirasawa A, Ogawa M, Kondo T, Yoshioka M, Kanai M, Muto M, Kosugi S. Current status and issues related to secondary findings in the first public insurance covered tumor genomic profiling in Japan: multi-site questionnaire survey. *J Hum Genet*. 2022 Oct;67(10):557-63

47. Morikawa M, Ieko M, Nakagawa-Akabane K, Umazume T, Chiba K, Kawaguchi S, Mayama M, Saito Y, Watari H. Prevention of venous thromboembolism in pregnant women with congenital antithrombin deficiency: a retrospective study of a candidate protocol. *Int J Hematol*. 2022 July;116(1):60-70

48. Noshiro K, Umazume T, Hattori R, Kataoka S, Yamada T, Watari H. Changes in Serum Levels of Ketone Bodies and Human Chorionic Gonadotropin during Pregnancy in Relation to the Neonatal Body Shape: A Retrospective Analysis. *Nutrients*. 2022;9;14(9):1971

49. Noshiro K, Umazume T, Hattori R, Kataoka S, Yamada T, Watari H. Hemoglobin Concentration during Early Pregnancy as Accurate Predictor of Anemia during Late Pregnancy. *Nutrients*. 2022;17;14(4):839

50. Ono Y, Furumura K, Yoshino O, Ota H, Sasaki Y, Hidaka T, Fukushi Y, Hirata S, Yamada H, Wada S. Influence of laparoscopic surgery for endometriosis and its recurrence on perinatal outcomes. *Reproductive medicine and biology*, 2022;21:e12456

51. Onuki M, Yamamoto K, Yahata H, Kanao H, Horie K, Konnai K, Nio A, Takehara K,

Kamiura S, Tsuda N, Takei Y, Shigeta S, Nakai H, Yoshida H, Motohara T, Kato T, Nakamura K, Hamanishi J, Tasaka N, Ishikawa M, Kado N, Taira Y, Mori M, Iwata T, Takahashi F, Kukimoto I, Yoshikawa H, Yaegashi N, Matsumoto K, For The Mint Study Group. Changes in HPV16/18 prevalence among unvaccinated women with cervical intraepithelial neoplasia: assessment of herd effects following the HPV vaccination program. *Vaccines (Basel)*. 2022 Jan 25;10(2):188

52. Onuki M, Yamamoto K, Yahata H, Kanao H, Yokota H, Kato H, Shimamoto K, Takehara K, Kamiura S, Tsuda N, Takei Y, Shigeta S, Matsumura N, Yoshida H, Motohara T, Watari H, Nakamura K, Ueda A, Tasaka N, Ishikawa M, Hirashima Y, Kudaka W, Taguchi A, Iwata T, Takahashi F, Kukimoto I, Yoshikawa H, Yaegashi N, Matsumoto K; MINT Study Group. Human papillomavirus vaccine effectiveness by age at first vaccination among Japanese women. *Cancer Sci*. 2022 Apr;13(4):1428-34

53. Saito Y, Kobayashi S, Ikeda-Araki A, Ito S, Miyashita C, Kimura T, Hirata T, Tamakoshi A, Mayama M, Noshiro K, Nakagawa K, Umazume T, Chiba K, Kawaguchi S, Morikawa M, Cho K, Watari H, Ito Y, Saijo Y, Kishi R; Japan Environment and Children's Study (JECS) group. Association between pre-pregnancy body mass index and gestational weight gain and perinatal outcomes in pregnant women diagnosed with gestational diabetes mellitus: The Japan Environment and Children's Study. *J Diabetes Investig*. 2022 May;13(5):889-99.

54. Saito Y, Kobayashi S, Ito S, Miyashita C, Umazume T, Cho K, Watari H, Ito Y, Saijo Y, Kishi R; Japan Environment and Children's Study group. Neurodevelopmental delay up to the age of 4 years in infants born to women with gestational diabetes mellitus: The Japan Environment and Children's Study. *J Diabetes Investig*. 2022 Sep 22. Online ahead of print.

55. Sakata Y, Cheng K, Mayama M, Seita Y, Detlefsen AJ, Mesaros CA, Penning TM, Shishikura K, Yang W, Auchus RJ, Strauss JF 3rd, Sasaki K. Reconstitution of human adrenocortical specification and steroidogenesis using induced pluripotent stem cells. *Dev Cell*. 2022;57(22):2566-83.e8

56. Seino M, Nagase S, Ohta T, Yamagami W, Ebina Y, Kobayashi Y, Tabata T, Kaneuchi M, Enomoto T, Mikami M. Impact of adjuvant chemotherapy on the overall survival of patients with resectable bulky small cell neuroendocrine cervical cancer: a JSOG-JSOG joint study. *J Gynecol Oncol*. 2022 Sep 29. Online ahead of print.

57. Sekine M, Nishijima K, Nakagawa S, Suzuki Y, Murakami T, Kato Y, Umazume T, Tanaka H, Komatsu H, Doi K, Miura K, Kudo Y, Unno N, Kimura T, Enomoto T. Challenges facing workstyle reform for Japanese obstetricians and gynecologists revealed from time studies. *J Obstet Gynaecol Res*. 2022 Jul;48(7):1580-90

58. Shimada S, Yamada T*, Iwakuma M, Kosugi S. Physicians' perceptions of the factors influencing disclosure of secondary findings in tumour genomic profiling in Japan: a qualitative study. *Eur J Hum Genet*. 2022 Jan;30(1):88-94

59. Tanaka T, Takehara K, Yamashita N, Okazawa-Sakai M, Kuraoka K, Teramoto N, Taguchi K, Yamashiro K, Kato H, Mizunoe T, Suzuki R, Yamamoto D, Ueki A and Saito T. Frequency and clinical features of deficient mismatch repair in ovarian clear cell and endometrioid carcinoma. *J Gynecol Oncol.* 2022;33(5):e67
60. Tanigawa T, Takeshima N, Ishikawa H, Nishio S, Usami T, Yamawaki T, Oishi T, Ihira K, Kato H, Goto M, Saito M, Taira Y, Yokoyama M, Shoji T, Kondo E, Mori A, Yokoi T, Iwasa-Inoue N, Hirashima Y, Nagasawa T, Takenaka M, Mikami M, Sugiyama T, Enomoto T. Paclitaxel-carboplatin and bevacizumab combination with maintenance bevacizumab therapy for metastatic, recurrent, and persistent uterine cervical cancer: An open-label multicenter phase II trial (JGOG1079). *Oncol.* 2022 Jun;165(3):413-9
61. Tsuruta T, Todo Y, Yamada R, Kuwahara K, Kurosu H, Minowa K, Minoura Y, Minobe S, Suzuki H, Kato H. Initial screening by immunohistochemistry is effective in universal screening for Lynch syndrome in endometrial cancer patients: a prospective observational study. *Jpn J Clin Oncol.* 2022 Jul 8;52(7):744-50
62. Tsuzuki Y, Hirata T, Tsuzuki S, Wada S, Tamakoshi A. Does the experience of the first assistant affect organ injuries in laparoscopic hysterectomy for benign diseases? *Arch Gynecol Obstet.* 2022 Sep 1. Online ahead of print.
63. Yamada R, Todo Y, Minowa K, Minobe S, Suzuki Y, Kato H, Kurosu H, Mori Y, Osanai T. Prevalence of sarcopenia in patients with gynecological cancer. *Jpn J Clin Oncol.* 2022 Sep 18;52(9):1001-7
64. Yamaguchi Y, Yamada T, Goto M, Kawasaki H, Wada T, Ikeda-Sakai Y, Saito Y, Hayashi M, Tanaka S, Takahashi R, Nakayama T, Murashima A, Kosugi S. Analysis of triptan use during pregnancy in Japan: A case series. *Congenit Anom (Kyoto).* 2022 Mar;62(2):78-81
65. Yamamoto R, Asano H, Umazume T, Takaoka M, Noshiro K, Saito Y, Nakagawa K, Chiba K, Nakakubo S, Nasuhara Y, Konno S, Watari H. C-reactive protein level predicts need for medical intervention in pregnant women with SARS-CoV2 infection: A retrospective study. *J Obstet Gynaecol Res.* 2022 Apr;48(4):938-45
66. Yamamoto Y, Fukuyama K, Kanai M, Kondo T, Yoshioka M, Kou T, Quy PN, Kimura-Tsuchiya R, Yamada T, Matsumoto S, Kosugi S, Muto M. Prevalence of pathogenic germline variants in the circulating tumor DNA testing. *Int J Clin Oncol.* 2022 Oct;27(10):1554-61
67. Yamazaki, H, Asano, H, Hatanaka, K.C, Matsuoka, R, Konno, Y, Matsuno, Y, Hatanaka, Y, Watari, H. The prognosis of endometrial cancers stratified with conventional risk factors and modified molecular classification. *Cancer Science.*2022;113(9):3134-47
68. Yonemori.K, Kuboki Y, Hasegawa K, Iwata T, Kato H, Takehara K, Hirashima Y, Kato H, Passey C, Buchbjerg JK, Hrris JR, Andreassen CM, Nicacio L, Soumaoro I and

Fujiwara K. Tisotumab vedotin in Japanese patients with recurrent/metastatic cervical cancer: Results from the innovaTV 206 study. Cancer Sci. 2022;113(8):2788-97

69. Yoshida H, Kikuchi A, Tsuda H, Sakamoto A, Fukunaga M, Kaku T, Yoshida M, Shikama A, Kogata Y, Terao Y, Tanikawa M, Yasuoka T, Chiyoda T, Miyamoto T, Okadome M, Nakamura T, Enomoto T, Konno Y, Yahata H, Hirata Y, Aoki Y, Tokunaga H, Usui H, Yaegashi N. Discrepancies in pathological diagnosis of endometrial stromal sarcoma: a multi-institutional retrospective study from the Japanese clinical oncology group. Hum Pathol. 2022 Jun;124:24-35

和文

70. 洪本加奈, 山田崇弘, 小杉眞司 (2020) : 遺伝性疾患の当事者またはキャリアの挙児検討に関わる要素の抽出 : 文献の内容分析による質的研究. 周産期医学 50:2056-62 *

71. 洪本加奈, 山田崇弘, 小杉眞司 (2020) : 新生児マススクリーニングで子の遺伝性疾患が見つかった親の感情 : 自身が保因者である可能性と再発率の告知について. 日本遺伝カウンセリング学会誌 41:107-14 *

72. 山村 幸, 山口 建, 本田明夏, 堀江昭史, 山田崇弘, 濱西潤三, 小杉眞司, 万代昌紀 (2020) : 遺伝性乳がん卵巣がん症候群に対するリスク低減卵管卵巣摘出術の後方視的検討. 産婦人科の進歩 72:230-6 *

73. 佐々木佑菜, 山田崇弘, 小杉眞司 (2021) : ビスホスホネート製剤導入が骨形成不全症罹患児の両親に与えた影響の調査 : 質的研究の統合. 周産期医学 51:1067-72 *

74. 島田 咲, 山田崇弘, 小杉眞司 (2021) : ゲノム解析における二次的所見の開示に影響する要素の探索 : 文献の内容分析による質的研究. 癌と化学療法 48:667-71 *

75. 加藤秀則 (2021) : 北海道がんセンターにおける新型コロナウイルス院内クラスター発生の経験と今後の対応. 医療 75(6) :519-23

76. 鈴木 凜, 太田 創, 小野洋輔, 滝本可奈子, 福士義将, 和田真一郎 (2021) : 分娩時家族立ち合いの有無と急速遂娩の関連. 日本周産期・新生児医学会誌 57:481-485

77. 鶴田智彦, 藤堂幸治, 黒須博之, 山田竜太郎, 蓑輪 郁, 見延進一郎, 加藤秀則 (2021) : 当院における婦人科がん患者に対する緩和医療の実態 : 腫瘍原発部位ごとの特徴ならび best supportive care (BSC) の提案からの経過を中心に. 日本婦人科腫瘍学会誌 39(4) :812-20

78. 三國雅人 (2021) : 道内競技団体における女性アスリートの健康問題に関する現状と課題の調査. (公財) 北海道スポーツ協会スポーツ科学委員会研究報告 42:20-30

79. 蓑輪 郁, 中島亜矢子, 西村真唯, 今井一章, 都築陽欧子, 福士義将, 和田真一郎, 藤

野敬史 (2021) : 婦人科癌根治手術への ERAS プロトコールに準拠したクリニカルパスの有効性の検討. 日本婦人科腫瘍学会雑誌 39:803-11

80. 秋江惟能, 工藤ありさ, 三國史嵩, 三坂琴美, 玉城 良, 中陳哲也, 勘野真紀, 朝野拓史, 野村英司(2022) : 腹腔鏡下婦人科悪性腫瘍手術の検討-手術チームとしての Learning curve-. 北海道産科婦人科学会雑誌 66(1):11-7

81. 安藤里沙, 片岡宙門, 五十嵐冬華, 今泉 翠, 推名浅香, 小館英明, 古田祐, 田沼史恵 (2022) : 妊娠中のサイトメガロウイルス感染予防啓発による効果の検討. 日本周産期・新生児医学会雑誌 58(1) : 31-6

82. 井平 圭 (2022) : 大学単位で行うリクルート. 産婦人科の実際 71(3):279-83

83. 大川加奈, 蝦名康彦 (2022) : 特定妊婦の特徴 : 夜間産婦人科救急電話相談における 432 件の分析. 母性衛生 63(2):474-82

84. 洪本加奈, 山田崇弘, 西垣昌和, 小杉眞司 (2022) : 新生児マスキングで子の遺伝性疾患が見つかった親が次子を検討する際に求める支援:認定遺伝カウンセラーとしてできること. 周産期医学 52:1307-12

85. 竹内瑞季, 蝦名康彦 (2022) : わが国の産後うつ病に対する妊娠期の予防的介入についての文献検討. 母性衛生 63(1):165-79

86. 中陳哲也, 高岡真佐人, 三國史嵩, 工藤ありさ, 三坂琴美, 秋江惟能, 勘野真紀, 野村英司(2022) : 蛍光尿管カテーテルを用いた後方アプローチによるロボット支援下子宮全摘術. 北海道産科婦人科学会雑誌 66(1):41-5

87. 野村英司, 高岡真佐人, 三國史嵩, 三坂琴美, 工藤ありさ, 秋江惟能, 中陳哲也, 勘野真紀 (2022) : 当科における若手医師に対するロボット支援下手術教育. 北海道産科婦人科学会雑誌 66(1):18-21

88. 水口実咲, 蝦名康彦 (2022) : 妊婦のやせ願望の要因と出生体重の関連. 母性衛生 63(1):53-62

89. 山田恭子, 三國史嵩, 宮城正太, 島畑顕治, 佐藤 修, 藤本俊郎(2022) : 当院における近年の未受診妊娠症例の検討. 北海道産科婦人科学会雑誌 66(1):29-34

90. 吉田ひかる, 蝦名康彦 (2022) : 高校生の妊娠成立後の受診行動に関連する因子. 母性衛生 63(1):43-52

症例報告

2021 年 11 月～2022 年 10 月

(＊：過年度未掲載分)

英文

1. Yamamura M, Kojima T, Koyama M, Sazawa A, Yamada T, Minakami H. Everolimus in pregnancy: Case report and literature review. J Obstet Gynaecol Res. 2017;43:1350-2*
2. Io S, Watanabe A, Yamada S, Mandai M, Yamada T. Perinatal benign hypophosphatasia antenatally diagnosed through measurements of parental serum alkaline phosphatase and ultrasonography. Congenit Anom (Kyoto). 2020;60(6):199-200*
3. Kitano A, Nakaguro M, Tomotaki S, Hanaoka S, Kawai M, Saito A, Hayakawa M, Takahashi Y, Kawasaki H, Yamada T, Ikeda M, Onda T, Cho K, Haga H, Nakazawa A, Minamiguchi S. A familial case of alveolar capillary dysplasia with misalignment of the pulmonary veins: The clinicopathological features and unusual glomeruloid endothelial proliferation. Diagn Pathol. 2020;15:48-54*

-
4. Kamiya A, Yamada T, Yoshida A, Doi T, Okada H. Perinatal management of tension pneumothorax due to cystoamniotic shunt displacement. Congenit Anom (Kyoto). 2022;62(4):181-2
 5. Takayanagi A, Kato F, Nozaki A, Matsumoto R, Osawa T, Kuwahara K, Matsuno Y, Asano H, Kato T, Watari H, Abe T, Shinohara N, Kudo K. Imaging findings of ovarian metastasis of primary renal cell carcinoma: A case report and literature review. Radiol Case Rep. 2022 May 5;17(7):2320-7

和文

6. 石塚泰也, 工藤正尊, 藤井タケル, 朝野拓史, 井平 圭, 遠藤大介, 三田村 卓, 金野陽輔, 加藤達矢, 中川絹子, 馬詰 武, 千葉健太郎, 森川 守, 宇田智浩, 大河内俊洋, 渡利英道 (2021): 卵巣刺激中の下垂体抑制のためにジェノゲストを使用した体外受精後の凍結融解胚移植で健児を得た一例. 北海道産科婦人科学会誌 65(1):64-70
7. 近藤絵美, 佐々木 理, 山川由希, 日向寺彩乃, 木村 理, 倉橋克典, 高後裕匡 (2021): 当院における胎児超音波スクリーニング検査 12,134 例の検討～超音波技師によるスクリーニング検査は重症先天性心疾患の新生児搬送を減少させる～. 北海道産科婦人科学会雑誌 65(1):58-63
8. 島袋朋乃, 中谷真紀子, 和田真一郎, 大原康弘, 加藤健太郎, 篠原敏也, 堀内美香, 鈴木 凜, 土肥龍平, 浅井聡子, 西村真唯, 松本沙知子, 小野洋輔, 滝本可奈子, 今井一章, 都築陽欧子, 太田 創, 福士義将, 藤野敬史, 中島亜矢子 (2021): 嚢胞性子宮腺筋症の直接浸潤により生じた直腸子宮内膜症に対して, 腹腔鏡下子宮腺筋症切除および直腸超低位前方切除術を施行した一例. 北海道産科婦人科学会雑誌 65(1):38-42

9. 米原利栄, 三坂琴美, 橋本大樹, 前田悟郎, 東 大樹, 青柳有紀子, 東 正樹, 山口辰美 (2021): 妊娠中に腹腔鏡下副腎摘出術を行った副腎性クッシング症候群の一症例. 北海道産科婦人科学会雑誌 65(1):19-26

10. 足立岳貴, 中谷真紀子, 小池和生, 小林雄大, 浅井美香, 浅井聡子, 島袋朋乃, 小嶋一司, 西村真唯, 松本沙知子, 小野洋輔, 滝本可奈子, 太田創, 都築陽欧子, 中島亜矢子, 福士義将, 山田秀人, 藤野敬史, 和田真一郎 (2022): 分娩を契機に筋強直性ジストロフィーと診断された 1 例. 手稲溪仁会病院医学雑誌 14:25-28

11. 印南裕貴, 馬場志郎, 中澤温子, 大塚沙樹, 武野 亨, 吉永大介, 松田浩一, 赤木健太郎, 平田拓也, 井出雄二郎, 池田 義, 長 和俊, 滝田順子 (2022): Ebstein 病根治術後も呼吸不全が遷延し, 間質性肺疾患の合併が判明した男児例. 小児科臨床 75(3):431-7

12. 小林範子, 藤野敬史, 皆川知広, 渡利英道 (2022): 蜂窩織炎を反復する下肢リンパ浮腫に対し医療連携が有効であった一例. 日本リンパ浮腫治療学会雑誌 5(1): 67-70

13. 島袋朋乃, 和田真一郎, 小池和生, 小林雄大, 足立岳貴, 浅井美香, 浅井聡子, 小嶋一司, 松本沙知子, 小野洋輔, 滝本可奈子, 中谷真紀子, 都築陽欧子, 太田創, 中島亜矢子, 福士義将, 山田秀人, 藤野敬史, 今村清隆 (2022): 直腸子宮内膜症に対して, 蛍光尿管カテーテルを用いて 腹腔鏡下直腸低位前方切除術並びに 深部子宮内膜症切除術を施行した 1 例. 手稲溪仁会病院医学雑誌 14:19-23

14. 都築陽欧子, 中島亜矢子, 松本沙知子, 小野洋輔, 滝本可奈子, 中谷真紀子, 太田創, 福士義将, 和田真一郎, 藤野敬史 (2022): 当院におけるプラチナ感受性再発腫瘍に対するオラパリブ投与症例の検討. 産科と婦人科 89:91-5

15. 中谷真紀子, 楊応華, 神谷知里, 足立岳貴, 小池和生, 小林雄大, 浅井美香, 浅井聡子, 島袋朋乃, 松本沙知子, 小嶋一司, 西村真唯, 小野洋輔, 滝本可奈子, 太田創, 都築陽欧子, 中島亜矢子, 福士義将 和田真一郎, 山田秀人, 藤野敬史 (2022): 当院におけるがん生殖医療について. 手稲溪仁会病院医学雑誌 14:5-12

16. 松本沙知子, 中谷真紀子, 和田真一郎, 足立岳貴, 小池和生, 小林雄大, 堀内美香, 浅井聡子, 島袋朋乃, 小嶋一司, 西村真唯, 小野洋輔, 滝本可奈子, 太田創, 都築陽欧子, 中島亜矢子, 福士義将, 山田秀人, 藤野敬史 (2022): 重症子宮内膜症の全腹腔鏡下子宮全摘術における 蛍光尿管カテーテルの使用経験. 手稲溪仁会病院医学雑誌 14:13-8

17. 良川大晃, 武田真人, 朝野拓史, 山崎博之, 黒須博之, 石塚泰也, 小林由佳子, 井平圭, 遠藤大介, 三田村 卓, 金野陽輔, 加藤達矢, 小林範子, 渡利英道 (2022): 初回検査で腺癌と診断された子宮頸部大細胞神経内分泌癌の 1 例. 北海道産科婦人科学会雑誌 66(1):46-54

その他

2021 年 11 月～2022 年 10 月
(※：過年度未掲載分)

英文

1. Saito Y, Umazume T, Watari H. Letter to "C-reactive protein level predicts need for medical intervention in pregnant women with SARS-CoV2 infection: A retrospective study". J Obstet Gynaecol Res. 2022 May;48(5):1285-6

和文

2. 山田崇弘 (2019) : 文献紹介 低ホスファターゼ症の原因となる ALPL 遺伝子のレアバリエントは卵巣および子宮疾患と強く関連する. HPP Frontier 2:328-9*
3. 山田崇弘 (2020) : 質疑応答 プロからプロへ. 骨系統疾患の出生前診断の行方は? 日本医事新報 4995:53*
4. 山田崇弘, 川崎秀徳, 全 理耶, 山口裕子, 本田明夏, 鳥嶋雅子, 村上裕美, 岡野高之, 和田敬仁, 小杉眞司 (2020) : 京都大学医学部附属病院遺伝子診療部における COVID-19 流行下における遠隔遺伝カウンセリング体制. 日本遺伝カウンセリング学会誌 41:287-91*

-
5. 井平 圭 (2022) : 患者の主訴への対応, 産婦人科レジデントの教科書 日本医事新報社, 東京, pp311-7
 6. 井平 圭 (2022) : 診療科の魅力が伝わるオンライン実習—北海道大学婦人科の事例—, 別冊医学のあゆみ オンラインによる医療者教育, 医歯薬出版株式会社, 東京, pp100-4
 7. 馬詰 武 (2022) : 医療現場の潮流 札幌圏の新型コロナウイルス対応: 1 年 9 か月をふり返って. 北産婦医会報 133:59-61
 8. 小林範子 (2022) : 漢方スッキリ方程式 Case 精神神経疾患を合併した月経前症候群の女性. 日本医事新報 5124:14
 9. 齊藤良玄 (2022) : 災害時における周産期医療～Business Continuity Plan～. 北産婦医会報 2022.1

論文以外の活動

2021 年 11 月～2022 年 10 月

1. 渡利英道 (2022) : (企画) 特集 産婦人科医リクルートへの効果的なアプローチを考える. 産婦人科の実践 71(3)
2. 渡利英道 (2022) : (寄稿) 子宮体癌を考える. 毎日新聞北海道版 8 月 29 日 21 面

研究費補助金・助成金・奨学金（2022年度）

文部科学省・日本学術振興会科学研究補助金

渡利英道：（基盤研究 C）「ハイドロゲルを用いたがん幹細胞形質の誘導と新規治療標的の探索」（代表研究者・継続）

蝦名康彦：（基盤研究 C）「ネットワーク分析による産後うつ病の精神病理の解明と個別化した支援の探求」（代表研究者・継続）

長 和俊：（基盤研究 C）「早産児の知的発達を促す睡眠プログラムの開発」（分担研究者・継続）

長 和俊：（基盤研究 C）「早産児の慢性肺疾患の重症度予測モデル構築のための多施設共同前方視的コホート研究」（分担研究者・継続）

董 培新：（基盤研究 C）「RNA 結合蛋白質-lncRNA 相互作用がもたらす体癌病態制御の新機軸」（代表研究者・新規）

金野陽輔：（基盤研究 C）「血中環状 RNA を用いた子宮頸癌の早期診断マーカーと治療標的の網羅的探索」（代表研究者・新規）

朝野拓史：（若手研究）「子宮頸癌患者由来オルガノイドの樹立方法の検討と薬剤スクリーニング」（代表研究者・新規）

厚生労働科学研究費補助金・委託費

長 和俊：（厚労科研費補助金）「低出生体重児の成長・発達評価手法の確立のための研究」（分担研究者・継続）

厚生労働省補助金

渡利英道：（健康局）「令和 4 年度ヒトパピローマウイルス感染症の予防接種に関する相談支援・医療体制強化のための地域ブロック拠点病院整備事業費」（北海道大学病院・新規）

日本医療研究開発機構（AMED）

渡利英道：（革新的がん医療実用化研究事業）「リンパ節転移リスクを有する子宮体癌に対する標準的リンパ節郭清確立のための多施設共同臨床試験」（代表研究者・新規）

渡利英道：（革新的がん医療実用化研究事業）「シスプラチンを含む化学療法を施行される子

宮がん患者の嘔気・嘔吐に対する六君子湯の効果-プラセボ対照無作為化二重盲検比較検証試験」
(代表研究者・継続)

渡利英道：(新興・再興感染症研究基盤創生事業)「病態進展に関与するウイルス叢の性状および進化機構の解明」
(分担研究者・継続)

渡利英道：(感染症実用化事業 新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業)「思春期女性への HPV ワクチン公費助成開始後における子宮頸癌の HPV16/18 陽性割合の推移に関する疫学研究」
(分担研究者・継続)

その他

渡利英道：(共同研究)「難治性婦人科悪性腫瘍に対する PARP 阻害薬・niraparib の有効性に関する臨床的・基礎的検討」
(実施責任者・継続)

渡利英道：(受託研究)「BRCA 関連バイオマーカー {Mutational Signature-based Biomarker:MSBM} の探索研究」
(実施責任者・継続)

渡利英道：(医師主導治験)「進行性/再発性の子宮体がん患者を対象にパクリタキセル+カルボプラチンにアテゾリズマブを併用する二重盲検プラセボ対照ランダム化第Ⅲ相比較試験-子宮体がんを対象としたアテゾリズマブの医師主導治験-(AtTEnd)」
(実施責任者・継続)

渡利英道：(医師主導治験)「再発プラチナ抵抗性または不応性卵巣癌，卵管癌又は原発性腹膜癌女性患者を対象にセジラニブとオラパリブの併用を，セジラニブ単剤又はオラパリブ単剤又は標準的な化学療法と比較するランダム化第Ⅱ/Ⅲ相試験(COCOS)」
(実施責任者・継続)

渡利英道：(医師主導治験)「統合型ゲノム解析によるトランスレーショナルリサーチを用いた，高異型度卵巣癌患者を対象としたオラパリブ維持療法に関する多施設共同第Ⅱ相臨床試験」
(実施責任者・継続)

渡利英道：(医師主導治験)「HRD 陽性再発・難治性婦人科希少がんに対する Niraparib の安全性・有効性を評価する単群・非盲検第Ⅱ相試験」
(実施責任者・継続)

渡利英道：(医師主導治験)「血中循環腫瘍 DNA に FGFR 遺伝子異常を有する難治性の治癒切除不能な進行・再発の固形がん患者に対する TAS-120 単独療法の有効性及び安全性を評価する多施設共同臨床第Ⅱ相バスケット試験」
(分担医師・継続)

渡利英道：(医師主導治験)「血中循環腫瘍 DNA で HER2 遺伝子増幅が検出された切除不能固形がん患者を対象とする DS-8201a 療法の多施設共同臨床第Ⅱ相試験」
(分担医師・継続)

渡利英道：(企業治験)「再発/持続性の卵巣癌，卵管癌又は原発性腹膜明細胞癌の患者を対象として選択的 PI3K α 阻害剤 CYH33 の有効性及び安全性を検討する第Ⅱ相非盲検多施設共同試験」
(実施責任者・新規)

- 渡利英道：（企業治験）「プラチナ製剤抵抗性再発卵巣癌患者を対象にベバシズマブとの併用又は非併用下で MK-3475 及びパリクタキセルの併用療法とプラセボ及びパクリタキセルの併用療法を比較する無作為化二重盲検第Ⅲ相試験（KEYNOTE-B96/ENGOT-ov65）」（実施責任者・新規）
- 渡利英道：（企業治験）「ミスマッチ修復機構欠損（dMMR）の進行又は再発子宮体癌患者を対象に一次治療として MK-3475 とプラチナ製剤を含む併用化学療法を比較する無作為化、実薬対象、非盲検、第Ⅲ相試験（KEYNOTE-C93/GOG-3064/ENGOT-en15）」（実施責任者・新規）
- 渡利英道：（企業治験）「A Randomized, Open-Label, Phase 3 Trial of Tisotumab Vedotin vs Investigator's Choice Chemotherapy in Second-or Third-Line recurrent or Metastatic Cervivical Cancer 二次又は三次治療の再発又は転移を有する子宮頸がんを対象に tisotumab vedotin と治療担当医師が選択した化学療法とを比較検討する、第 3 相、無作為化、非盲検試験」（実施責任者・継続）
- 渡利英道：（企業治験）「根治手術後の初発高リスク子宮体癌患者を対象とした術後化学療法+MK3475 と術後化学療法+プラセボを比較する第Ⅲ相、無作為化、二重盲検試験（KEYNOTE-B21/ENGOT-en11/GOG-3053）」（実施責任者・継続）
- 渡利英道：（企業治験）「高リスクの局所進行子宮頸癌患者を対象とした MK-3475 と同時化学放射線療法の併用療法及び同時化学放射線療法の単独療法を比較する二重盲検、無作為化、第Ⅲ相試験（KEYNOTE-A18 / ENGOT-cx11）」（実施責任者・継続）
- 渡利英道：（企業治験）「BRCA 変異陰性の進行上皮性卵巣がんの未治療患者を対象としたペムブロリズマブ及び化学療法併用投与後に維持療法としてペムブロリズマブ及びオラパリブの併用投与群とペムブロリズマブ及び化学療法併用投与後に維持療法としてペムブロリズマブ単独投与群を化学療法投与群と比較する二重盲検、無作為化、第Ⅲ相試験」（実施責任者・継続）
- 渡利英道：（企業治験）「直近のプラチナ製剤を含む化学療法で完全奏効又は部分奏効が得られたプラチナ製剤感受性の再発性上皮性卵巣癌、卵管癌又は原発性腹膜癌の日本人患者を対象として Niraparib の安全性を評価する、第 2 相、多施設共同、非盲検、単群試験」（実施責任者・継続）
- 渡利英道：（企業治験）「白金製剤による初回化学療法を受けた BRCA 変異を有する進行卵巣癌患者（FIGO 進行期分類Ⅲ～Ⅳ期）にオラパリブを維持療法として単独投与する無作為化二重盲検プラセボ対照多施設共同第Ⅲ相試験」（実施責任者・継続）
- 渡利英道：（企業治験）「プラチナ製剤抵抗性の再発卵巣がん患者を対象とした ofranergene obadenovec (VB-111)+パクリタキセル群とプラセボ+パクリタキセル群の多施設共同無作為化二重盲検比較試験（OVAL 試験）」（実施責任者・継続）
- 渡利英道：（企業治験）「再発性又は転移性子宮頸がんを対象に、REGN2810 と治験担当医が選択した化学療法とを比較する非盲検、無作為化、第Ⅲ相試験」（実施責任者・継続）

渡利英道：（企業治験）「白金製剤抵抗性/不応性卵巣癌患者を対象とした AVELUMAB（MSB0010718C）の単剤療法またはペグ化リポゾーマルドキソルビシンとの併用療法をペグ化リポゾーマルドキソルビシンの単剤療法と比較する多施設共同、ランダム化、無作為化、非盲検、第3相試験」（実施責任者・継続）

渡利英道：（国立がん研究センター研究開発費）「成人固形がんに対する標準治療確立のための基盤研究」（分担研究者・継続）

長 和俊：（受託研究）「遺伝性間質性肺疾患等の遺伝子検査に関する報告書作成支援」（分担研究者・継続）

馬詰 武：（共創の場形成支援プログラム（COI-NEXT））「こころとカラダのライフデザイン共創拠点」（分担研究者・新規）

馬詰 武：（受託研究）「フレキシブルセンサで胎動と子宮収縮とを検知する研究」（分担研究者・継続）

馬詰 武：（受託研究）「北の社会イノベーション部門」（分担研究者・継続）

馬詰 武：（受託研究）「マスクに関する指導」（分担研究者・継続）

馬詰 武：（受託研究）「新しい感染防御機能をもった防護眼鏡の開発指導」（分担研究者・継続）

朝野拓史：（企業治験）「早発型重症妊娠高血圧腎症患者を対象とした KW-3357 の第Ⅲ相ランダム化プラセボ対照二重盲検比較試験」（実施責任者・継続）

助成金・奨学金

（＊：過年度未掲載分）

徐 道知：公益財団法人大塚敏美育英奨学財団 2020 年度奨学生 2020 年 8 月 12 日＊

徐 道知：第 17 回音羽博次奨学金 2021 年 9 月 28 日＊

徐 道知：第 41 回高桑榮松奨学基金・助成金 2022 年 3 月 7 日

受賞・表彰

2021 年 11 月～2022 年 10 月

北海道大学医学部
長 和俊：令和 3 年度 エクセレントティーチャー 最優秀賞

8 月 18 日（北大）

第 69 回北日本産科婦人科学会総会・学術講演会
五十嵐冬華：優秀演題賞

10 月 16 日（盛岡）

「当院におけるジノプロストン腔内留置用製剤（プロウペス®）の使用経験」

ベストドクターズ社
小林範子：Best Doctors in Japan™ 2022-2023（2022）

学位取得者

博士（医学）

令和4年6月30日

徐 道知

子宮頸癌及び高悪性度子宮体癌の上皮間葉転換における microRNA の役割
とその作用メカニズムの解明に関する研究

Studies on the roles of EMT-associated microRNAs in cervical
cancer and aggressive endometrial cancer

外国留学

眞山 学徳（令和4年度 日本学術振興会海外特別研究員）

University of Pennsylvania

Department of Biomedical Sciences, School of Veterinary Medicine

2022年4月～2024年3月

北大産婦人科教室 および関連病院（2022年11月1日現在 敬称略）

産婦人科教授	渡利 英道
保健学科研究院教授	蝦名 康彦
北海道大学病院教授	山田 崇弘
准教授	工藤 正尊 長 和俊
講師	小林 範子 馬詰 武
助教	武田 真人 金野 陽輔 三田村 卓 千葉 健太郎 遠藤 大介 井平 圭 朝野 拓史 細川 亜美 董 培新 (翟 天玥)
助手	古田 伊都子
大学院生（医員）	齊藤 良玄 石塚 泰也 山崎 博之 黒須 博之 能代 究 藤井 タケル 松宮 寛子 赤羽 慧一郎
医員	玉城 良 橋本 大樹 良川 大晃 工藤 ありさ 西巻 梓 中山 大輝 吉瀬 馨 能代 知美 佐野 友宇子 (北海道庁)

関連病院

天使病院	藤枝 聡子	(松下 容子)	田中 星人	(永井 匠)	野口 愛菜	川崎 彩	(後藤 公美子)								
市立札幌病院	平山 恵美	首藤 聡子	早貸 幸辰	箱山 聖子	川端 公輔	山口 正博	金川 明功	渡邊 碧							
札幌厚生病院	奥山 和彦	大中 一矢													
北海道がんセンター	香城 恒磨	日下 眞純	三國 雅人	桑原 道弥	角江 昭彦	(三島 隆)	吉井 一樹	小林 由佳子							
JCHO北海道病院	加藤 秀則	見延 進一郎	青山 聖美	山村 満恵	(箕輪 郁)	山田 竜太郎	鈴木 裕太郎								
KKR札幌医療センター	山田 俊	小田 泰也	小山 貴弘	佐々木 瑞恵	藤井 タケル	吉川 栞									
手稲溪仁会病院	西 信也	池田 研	加藤 達矢	田中 理恵子	木村 敬子	石塚 泰也									
	和田 真一郎	山田 秀人	福士 義将	中島 亜矢子	(太田 創)	(都築 陽欧子)	中谷 真紀子	(滝本 可奈子)							
	(松本 沙知子)	(西村 真唯)	(西島 純一)	(小嶋 一司)	(島袋 朋乃)	(堀内 美香)	(土肥 龍平)	(吉増 崇志)							
	藤野 敬史														
北海道対がん協会札幌センター	藤田 博正	岡元 一平													
札幌徳洲会病院	(河井 紀一郎)	涌井 之雄	(名和 正行)	(齋藤 洋)											
市立江別病院	中郷 賢二郎	佐藤 博	佐藤 元哉	(浅井 聡子)											
砂川市立病院	山下 陽一郎	宇田 智浩	安藤 里沙	山本 竜太郎	五十嵐 冬華	山口 景子									
滝川市立病院															
美唄市立病院															
芦別市立病院															
深川市立病院															
旭川厚生病院	光部 兼六郎	(中田 俊之)	小田切 哲二	野崎 綾子	(中島 えりか)	(杉山 沙織)	(村上 幸治)	(麿澤 章太郎)							
	(小林 雄大)														
富良野協会病院	堀 保彦	(石川 雅嗣)													
市立小樽病院	金内 優典	櫻木 範明	星 信哉	櫻井 愛美											
倶知安厚生病院	早川 和彦														
市立千歳市民病院	津村 宣彦	越田 高行	菊池 研												
苫小牧市立総合病院	藤本 俊郎	佐藤 修	島畑 顕治	山田 恭子	宮城 正太	高岡 真佐人									
王子総合病院	野村 英司	勘野 真紀	中陳 哲也	三坂 琴美	三國史嵩										
浦河日赤病院	苫小牧市立	(2X) / 王子 (2X) / 千歳 (1X) / KKR (1X) / 大学 (2X)													
八雲総合病院	白銀 透														
函館中央病院	片岡 宙門	田沼 史恵	古田 祐	小舘 英明	今泉 翠	山田 和佳	田畑 智章								
公立芽室病院															
帯広厚生病院	(川口 勲)	服部 理史	森脇 征史	明石 大輔	飯沼 洋一郎	秋江 惟能	安田 真子	鎌田 奈都子							
	松井 優祐														
釧路赤十字病院	東 正樹	米原 利栄	青柳 有紀子	前田 悟郎	(小池 和生)	伏津 建太郎									
根室市立病院															
網走厚生病院	鈴木 賀博														
中標津町立病院	松崎 登	(島野 敏司)	(笠原 玲奈)												
たばた産婦人科クリニック	田畑 雅章	田畑 浩一													
札幌マタニティ・ウイメンズHP	高後 亮	高後 裕匡	大久保 仁	横尾 洋一	(上村 淳一)	蔵谷 美乃里	(東 大樹)	(村尾 かおり)							
	(小泉 明希)	(倉橋 克典)	(沢井 かおり)	田中 景子	八重樫 稔										
札幌マタニティ・ウイメンズJRタワーC	晴山 仁志		リズムック婦人科クリニック	山本 律											
ふかざわ病院	深沢 けい子		響きの社クリニック	西谷 雅史											
さくら女性クリニック	土橋 義房		旭川レディースクリニック	佐藤 広文											
はしもとクリニック (施設)	橋本 昌樹		おおこうち産科婦人科	大河内 俊洋											
ブリモウイメンズクリニック (施設)	田中 信一		マミーズクリニックちとせ	島田 茂樹											
高岡レディースケアクリニック	高岡 波留人		函館ほんどおりクリニック	工藤 隆之											
中央メディカルクリニック	石田 君子		栄町レディースクリニック	西田 竜太郎											
アップルレディースクリニック	工藤 正史		福住産科婦人科クリニック	保坂 昌芳	(小野 方正)										
川上ウイメンズクリニック	川上 博史		ペルル女性クリニック	武田 真光											
湯の川女性クリニック	小葉松 洋子		こじま産婦人科	小島 誠介	小島 崇史										
帯広レディースクリニック	北澤 克彦		遠藤桔梗マタニティクリニック (施設)	遠藤 力											
大通エールレディースクリニック	河口 哲		セントベビークリニック	佐々木 雅弘											

()は同門会、WINDともに未入会者 / 慎重に作成しておりますが誤記などお気づきの点は幹事長までご連絡くださいましたら幸いです

令和４年度 個人社員人事異動（一部前年度含/敬称略）

	氏 名	現勤務先	異動日	新勤務先
01	山口 辰美	釧路赤十字病院	2022. 03. 31	退職 （老人保健施設 ナーシングホーム コスモスへ）
02	涌井 之雄	KKR 札幌医療センター	2022. 03. 31	退職 （W I N D人事外で徳洲会へ）
03	中川 絹子	北大病院	2022. 03. 31	退職
04	田中 景子	北大病院	2022. 03. 31	退職（札幌マタニティへ）
05	古田 伊都子	北大	2022. 03. 31	退会
06	杉山 英智		2022. 03. 31	退会
07	日沖 友香	天使病院	2022. 03. 31	退会
08	加藤 達矢	北大病院	2022. 04. 01	KKR 札幌医療センター
09	細川 亜美	札幌厚生病院	2022. 04. 01	北大病院
10	小林 由佳子	北大病院	2022. 04. 01	札幌厚生病院
11	赤羽 慧一郎	江別市立病院	2022. 04. 01	北大病院
12	佐藤 元哉	砂川市立病院	2022. 04. 01	江別市立病院
13	櫻井 愛美	砂川市立病院	2022. 04. 01	北大病院
14	佐野 友宇子	砂川市立病院	2022. 04. 01	北大病院
15	安藤 里沙	函館中央病院	2022. 04. 01	砂川市立病院
16	五十嵐 冬華	函館中央病院	2022. 04. 01	砂川市立病院
17	山本 竜太郎	北大病院	2022. 04. 01	砂川市立病院
18	山田 和佳	旭川厚生病院	2022. 04. 01	函館中央病院
19	三坂 琴美	旭川厚生病院	2022. 04. 01	王子総合病院
20	三國 史嵩	苫小牧市立病院	2022. 04. 01	王子総合病院
21	高岡 真佐人	王子総合病院	2022. 04. 01	苫小牧市立病院
22	秋江 惟能	王子総合病院	2022. 04. 01	帯広厚生病院
23	吉瀬 馨	市立札幌病院	2022. 04. 01	北大病院
24	能代 知美	市立札幌病院	2022. 04. 01	北大病院
25	金川 明功	J C H O北海道病院	2022. 04. 01	市立札幌病院
26	藤井 タケル	北大病院	2022. 04. 01	J C H O北海道病院
27	松宮 寛子	帯広厚生病院	2022. 04. 01	北大病院
28	野口 愛菜	休職中	2022. 04. 01	天使病院
29	大中 一矢	稚内市立病院 （初期研修２年目）	2022. 04. 01	市立札幌病院 （新入会・専攻医１年目）
30	吉川 栞	北大病院 （初期研修２年目）	2022. 04. 01	J C H O北海道病院 （新入会・専攻医１年目）

31	山口 景子	小樽市立病院 (初期研修 2 年目)	2022. 04. 01	砂川市立病院 (新入会・専攻医 1 年目)
32	田畑 智章	北大病院 (初期研修 2 年目)	2022. 04. 01	函館中央病院 (新入会・専攻医 1 年目)
33	能登原 奈都子	帯広厚生病院 (初期研修 2 年目)	2022. 04. 01	帯広厚生病院 (新入会・専攻医 1 年目)
34	松井 優祐	帯広厚生病院 (初期研修 2 年目)	2022. 04. 01	帯広厚生病院 (新入会・専攻医 1 年目)
35	伏津 建太郎	旭川赤十字病院 (初期研修 2 年目)	2022. 04. 01	釧路赤十字病院 (新入会・専攻医 1 年目)
36	西巻 梓	育休中 (H31 年 3 月初期研修終了)	2022. 04. 01	北大病院 (新入会)
37	関 敏雄	札幌徳洲会病院	2022. 05. 31	死亡退会
38	黒須 博之	小樽市立病院	2022. 06. 01	北大病院
39	良川 大晃	北大病院	2022. 06. 01	小樽市立病院
40	吉田 博		2022. 06. 30	退会
41	山村 満恵	J C H O 北海道病院	2022. 09. 01	北海道がんセンター
42	渡邊 碧	江別市立病院	2022. 09. 01	市立札幌病院
43	藤堂 幸治	北海道がんセンター	2022. 09. 30	退会 (道外転出)
44	河口 哲	札幌マタニティウィメンズ ホスピタル	2022. 09. 30	大通エールレディースクリニック 開業 (2022. 11. 1)
45	青山 聖美	小樽市立病院	2022. 10. 01	北海道がんセンター
46	良川 大晃	小樽市立病院	2022. 11. 01	北大病院
47	櫻井 愛美	北大病院	2022. 11. 01	小樽市立病院
48	山田 崇弘	京都大学医学部附属病院	2022. 11. 01	北大病院臨床遺伝子診療部教授 就任

卒業年次別 W I N D個人社員名簿 (令和4年11月1日現在, 敬称略)

卒業年次	氏 名
48	深沢 けい子・星 信哉
51	櫻木 範明・佐藤 博
52	大久保 仁・藤田 博正
53	高岡 波留人・山口 辰美・堀 保彦
54	佐川 正・津村 宣彦
55	奥山 和彦・田畑 雅章・藤野 敬史・石田 君子・相原 稔彦
56	武田 直毅
57	津田 加都哉・武井 弥生
58	加藤 秀則
59	松崎 登
60	長 和俊・早川 和彦
61	工藤 正尊・涌井 之雄
62	工藤 正史・香城 恒麿
63	三國 雅人・山下 陽一郎・山田 俊
平成元年	東 正樹・金内 優典・工藤 隆之・越田 高行・金野 宏泰・八重樫 稔・和田 真一郎・渡利 英道
2	平山 恵美・桑原 道弥・野村 英司・蝦名 康彦
3	岡元 一平・北澤 克彦・武田 真人・土橋 義房・服部 理史
4	荒木 直人・佐藤 修・首藤 聡子・白銀 透・西 信也・光部 兼六郎
5	小野寺 康全・片岡 宙門・角江 昭彦・福士 義将・見延 進一郎・渡利 道子・藤本 俊郎
6	池田 研・川上 博史・勘野 真紀・菊地 研・小林 範子・島田 茂樹
7	山田 崇弘
8	大場 洋子・早貸 幸辰・保坂 昌芳・米原 利栄
9	小田 泰也・中島 亜矢子・西田 竜太郎・野呂 紀子・森脇 征史・中郷 賢二郎
10	高後 裕匡
11	加藤 達矢・田沼 史恵
12	小田切 哲二・河口 哲・金野 陽輔・島畑 顕治・鈴木 賀博・武田 真光
13	青山 聖美・佐々木 瑞恵・三田村 卓
14	青柳 有紀子・小山 貴弘・赤石 理奈
15	明石 大輔・山村 満恵
16	飯沼 洋一郎
17	小島 崇史・田中 理恵子・千葉 健太郎・中谷 真紀子・古田 祐・箱山 聖子
18	宇田 智浩・山田 恭子
19	井平 圭・馬詰 武・遠藤 大介・野崎 綾子
20	齊藤 良玄・嶋田 知紗・中川 絹子・藤枝 聡子・吉井 一樹
21	石塚 泰也・川端 公輔・小林 由佳子・木村 敬子・前田 悟郎・山口 正博・小舘 英明・山田 竜太郎
22	朝野 拓史・大原 康弘・蔵谷 美乃里・細川 亜美・松宮 寛子・山崎 博之・黒須 博之
23	能代 究・田中 星人・眞山 学徳
24	能代 知美・野口 愛菜
25	藤井 タケル
26	金川 明功・櫻井 愛美・田中 景子・玉城 良・中陳 哲也・橋本 大樹・良川 大晃・鈴木裕太郎
27	赤羽 慧一郎・秋江 惟能・川寄 彩・宮城 正太・今泉 翠
28	三坂 琴美・渡邊 碧
29	安藤 里沙・工藤 ありさ・山本 竜太郎・西巻 梓
30	吉瀬 馨・佐野 友宇子・中山 大輝
31	五十嵐 冬華・佐藤 元哉・高岡 真佐人・三國 史嵩・安田 真子・山田 和佳
令和2	大中 一矢・吉川 栞・山口 景子・田畑 智章・鎌田 奈都子・松井 優祐・伏津 建太郎

北大産婦人科在職者

（令和4年11月1日現在、敬称略）

教 授 :	渡利 英道
保健科学研究院教授 :	蝦名 康彦
北海道大学病院教授 :	山田 崇弘
准 教 授 :	長 和俊（周産母子センター、診療教授） 工藤 正尊（生殖医療センター）
講 師 :	小林 範子（婦人科）、馬詰 武（産科病棟医長）
助 教 :	武田 真人（婦人科）、金野 陽輔（WIND幹事長、婦人科外来医長） 三田村 卓（婦人科）、千葉 健太郎（産科外来医長）、遠藤 大介（婦人科病棟医長）、井平 圭（婦人科）、朝野 拓史（産科）、細川 亜美（産科） 董 培新（産婦人科学教室）、翟 天玥（産婦人科学教室）
助 手 :	古田伊都子（産婦人科学教室）
大 学 院 生 :	齊藤 良玄、石塚 泰也、山崎 博之、黒須 博之、能代 究、 藤井 タケル、松宮 寛子、赤羽慧一郎、玉城 良
医 員 :	橋本 大樹、良川 大晃、工藤 ありさ、西巻 梓、中山 大輝、 吉瀬 馨、能代 知美
海 外 留 学 :	眞山 学徳（客員研究員、日本学術振興会海外特別研究員）
訪問外国人研究員 :	AlaaEldin SalahEldin AbdElwahab Amin (R4.9.1～R5.2.28)
非 常 勤 講 師 : （任期4.1～9.30）	山田 秀人（客員教授）、山田 俊、山田 崇弘、河口 哲
客 員 臨 床 医 師 :	藤野 敬史（客員臨床教授）、河口 哲（客員臨床講師）
臨床系連携分野教員 :	婦人科：加藤 秀則（客員教授）、金内 優典（客員准教授）、 産 科：山田 俊（客員准教授）
教 室 秘 書 :	伊藤 絵美、後藤 静江、鎌上 早苗、佐々木 雅美、水口 加奈子
ク ラ ー ク :	山崎 るりこ（婦人科CR）、篠原 美佐子（産科CR）、浅野 明子（NICU CR）、 齊藤 沙希（婦人科外来）、加我 杏弓（産科外来）
技 術 補 佐 員 :	大高 幸子（生殖医療センター）、酒井 晶子（生殖医療センター）

令和4年度W I N D 執行部

(令和4年11月1日現在)

幹事長	金野 陽輔
副幹事長	馬詰 武
庶 務	齊藤 良玄 山崎 博之
広 報	良川 大晃
研 修	遠藤 大介
リクルート	井平 圭 能代 究
監 事	津村 宣彦 佐藤 博
選挙管理委員長	大河内 俊洋